

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2023年12月4日号 東京発行 NO.319

発行元: 株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047 E-mail: info@taiwannews.jp 台湾代表處 新北市林口區文化二路一段266號B1-8 TEL: 02-2608-6177
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込)/NT.1,000

日本全国9都市10空港より台湾へ
定期便日本最多の週120往復を運航!

2023年12月から熊本-台北線が週4便、2024年1月から高松-台北線が週5便へそれぞれ増便。
また、福岡-台北線(CI129/128-週2便)、沖縄-台北線(CI123/122-週4便)、
沖縄-高雄線(CI133/132-週3便)、富山-台北線(CI171/170-随時便として週2便)、
2月から関西-高雄線(CI167/168-週5便)がそれぞれ運航いたします!

最新スケジュールや詳細な航空情報はキャッチ エアラインの公式サイトから
www.china-airlines.com/jp/jp

台湾次期総統選 各党の立候補者が確定



Keen Pro 次期総統選の候補者が決定(写真:中央社)



吳欣盈立法委員、野党民衆党の副総統候補に(写真:吳欣盈 SNS)



趙少康氏、国民党の副総統候補に出馬(写真:趙少康 SNS)



蕭美琴駐米代表が与党副総統候補に(写真:蕭美琴 SNS)

来年1月13日に投票される台湾次期総統選への立候補届け出の受付が11月20日から同24日まで行われ、12月15日に告示される。

与党副総統に蕭美琴駐米代表
今年4月12日、与党民進党の2024年総統選挙準備選挙には頼清徳副総統以外の届け出がなく、正式に候補者に選出された。

同氏は11月20日に記者会見を開き、ペアで出馬する副総統候補に蕭美琴駐米代表を指名した。頼氏は会見で「米国と史上最高の信頼関係を築いた」と蕭氏をたたえ「我々は台湾を團結させ、情勢の変化をチャンスに変えていく」と訴えた。蕭氏は「台湾のために全力を尽くす」とし、副総統への出馬決意を表明した。

蕭氏は1971年、台湾人の父と米国人の母で神戸生まれ、台湾台南市で育った。民進党

政権において政党間の外交及び国家安全保障を含む政策と党務の国際化に貢献した。中央政界入り後、延べ4期にわたる立法委員と總統府国家安全會議委員を歴任し、蔡英文政権2期目発足に伴い駐米代表に就任した。2021年1月のバイデン大統領就任式に正式に招待され、1979年以来初めて台湾政府の代表として就任式に参加した。

野党共闘にならず 混戦が続く国民党、民衆党
各世論調査の支持率においてほぼ同列になった侯友宜新北市長(国民党)と柯文哲台北市長(民衆党)は11月15日、単独の勝利は見込めないと判断し、馬英九前總統の仲介で会談を行い、候補者一本化で共闘を結成すると合意した。

しかし同18日の協議では、候補者選定の方法をどのように解釈すべきかについて意見がまとまらず、候補者発表は見送りとなった。双方とも協議を継続するとしながら、柯氏が翌19日の選挙集会で「民衆党の総統候補として最後まで戦い続ける」と述べ、両党による野党共闘は破綻した。

さらに同23日に行われた会談でもコンセンサスを取らず、民衆党は立法委員の吳欣盈氏を副総統候補にし、柯氏は中央選挙委員会に立候補を届け出た際に、報道陣に「私たちの未来を勝ち取らなければならない」と決意を表明した。

なお国民党は、趙少康氏を副総統候補に指定。趙氏は立法委員や台北市議などを歴任し、現在は放送局、中国広播の会長を務めている。このペアの結成について侯氏は報道陣に

「中華民国を必ず我々の手に取り戻す」と語った。

郭台銘氏、総統選からの撤退表明
一方、無党派として署名推薦での立候補を目指す鴻海精密工業の創業者郭台銘氏は11月14日、集めた署名が90万人を超え、立候補の条件を満たしたと発表した。届け出の最終日となる同24日、自らの SNS で選挙からの撤退を発表した。

声明では「人は退くが志は退かない」とするとともに、自身が選挙から撤退することで政権交代が実現し、台湾が変化することを願った。

なお、総統選と同日には立法委員選(定数113)も実施される。現時点で62議席を占める民進党は過半数の確保が難しい情勢で、各党は激しい選挙戦を展開する見通しだ。

「中華民国を必ず我々の手に取り戻す」と語った。

郭台銘氏、総統選からの撤退表明
一方、無党派として署名推薦での立候補を目指す鴻海精密工業の創業者郭台銘氏は11月14日、集めた署名が90万人を超え、立候補の条件を満たしたと発表した。届け出の最終日となる同24日、自らの SNS で選挙からの撤退を発表した。

声明では「人は退くが志は退かない」とするとともに、自身が選挙から撤退することで政権交代が実現し、台湾が変化することを願った。

なお、総統選と同日には立法委員選(定数113)も実施される。現時点で62議席を占める民進党は過半数の確保が難しい情勢で、各党は激しい選挙戦を展開する見通しだ。

TOPIC

日本語版

- 米中首脳会談 台湾海峡問題は平行線 2面
- 台湾最大規模の旅行展に延べ34万人来場 3面
- 味全ドラゴンズが24年ぶりに台湾シリーズ制覇 4面

中国語版

- 台日交流高峰會 in 仙台 強勁助台加入國際組織 8面
- 台日經貿交流史上最高規格 2023日本台灣形象展登場 8面
- 千葉台商會推動台日小學跨國交流 增進台日教育友好互動 9面
- 世華日本分會拜訪福島縣磐梯町 促進台日地方交流 10面
- 台日不動產同業公會相見歡 共同見證真摯友誼 10面

WEBでもニュース記事が読めます
<https://taiwannews.jp/>

南国料理で宴会プラン楽しく歓迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

台湾新聞2024年
謹賀新年元旦号
広告ご出稿のご案内

台湾新聞では、来年1月1日に113年目の新年を迎える中華民国(台湾)へのお祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、お祝い広告を掲載しませんか?

▼詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【お申し込み方法】
FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。
【お問い合わせ・お申し込み先】
台湾新聞社
TEL: 03-5917-0045
FAX: 03-5917-0047
E-mail: info@taiwannews.jp
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4

クーターシェアリングや電子レシートなどを紹介。文総の嶋小敏副秘書長は報道資料を通じ「台湾の友人である日本人と共に、豊かで多様性のある台湾の姿を知ってもらい、テクノロジーと共にある台湾の日常を体験してほしい」と語った。

なお TAITRA によると、今年は延べ2万人以上が来場し、約8500万米ドル(約130億円)の商機をもたらしたという。

副大統領やアントニー・ブリンケン國務長官、国家経済會議(NEC)のラエル・ブレイナード委員長、日本の岸田文雄首相、シンガポールのリー・シェンロン首相と2者間会談を行った。

また蔡英文政権下で6度目の APEC の総統特使に頼まれたことについて張氏は「APEC 首脳会談に出席する機会を与えてくれた」と蔡總統に感謝した上で、会談の内容はテクノロジー関連の話題が多く上がったと話した。蔡總統からも「張氏が全ての APEC 参加メンバーに対し、台湾がアジア太平洋地域の繁栄と発展のために尽力した」と語り、張氏の役割を評価した。

日華懇成立50周年 台湾訪問の成果発表



赤松健参議員が似顔絵を展示



古屋圭司会長

超党派議員連盟「日華議員懇談会」(古屋圭司会長)は11月1日、衆議院第二議員会館で総会を開き、10月7日から同10日の台湾訪問団の成果を発表した。

日華懇は今年3月に成立50周年を迎えた。中華民国112周年双十節國慶祝賀式典に出席するため、このほどメンバー43人が台湾を訪問した。日本の国会議員による同式典への出席人数としては過去最多となった。

古屋会長は挨拶で「今回の訪台人数が過去最多」とした上で「たくさんのスポットを訪れたほか、台湾次期総統選の3人の候補者とも面会し、台湾が民主主義への熱情を感じた」と述べた。

同会に招かれた謝長廷駐日代表は「今年日本の国会議員による台湾訪問団は世界各国においても一番多かった」と話し「台湾と日本は民主主義などの価値観を共有するパートナーで、特に国会間の

交流が盛んになり、外交や経済面の関係深化を促進した」と日華懇を評価するとともに感謝の意を表した。

同議連のメンバーの赤松健参議員(自由民主党)は台湾訪問中、蔡英文總統及び頼清徳副總統に贈った似顔絵を披露。古屋会長によると、蔡總統は贈呈の際に「私自身よりきれい」と応え、萩生田氏から「本人の方が綺麗です」との対応に、会場からの笑いを誘ったという。

また古屋会長は報道陣に「今回3人の総統候補との会談について「台湾海峡の平和と安定において3人も共通点がある」とした上で「誰が当選しても大きな変化はないだろう」と感想を述べた。

なお、11月中旬に日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所所長を就任する予定の片山和之氏も出席して挨拶した。

台湾エキスポ登場 日本企業の投資に期待



開幕式



記念写真

中華民国対外貿易發展協會(TAITRA)及び台湾經濟部國際貿易署が主催する「台湾エキスポ2023」は11月9日から同11日、東京で開催された。同協会によると、今回の規模は史上最大で、台湾から135社の商品が集まり、日本に台湾製造の高品質の商材や台湾の魅力アピールした。

開幕式でまず登壇したのは、日本で高い人気を得る台湾チアリーダーズ「クラシック・ガールズ」のリンシャンさんとチュンチュンさん。熱いパフォーマンスを披露して会場に魅了した。

開幕式に出席した王美花経済部長は、日台間の経済交流の歴史を振り返り、両国の産業連携は日増しに緊密になっているとの認識を示した。王氏は半導体受託生産世界最大手、台湾積体電路製造(TSMC)が熊本県での工場成立について「これにより、日本の各界が台湾の産業への理解を一層深め、規模は小さいながらも優れた実績を持つ「隠

れたチャンピオン」の日本進出により、日本企業からも台湾への投資の後押しとなり、日台双方に有利な協力の傾向だ」と述べた。

TAITRA の黄志芳董事長は「日本台湾交流協会による民意調査で、台湾人が一番好きな国は日本で、台北駐日経済文化代表処による調査からも、日本人が一番親しみを覚える国は台湾だ」とし「日本と台湾は民主主義の価値観を共有し、互いに助け合うように、両国は経済貿易においても緊密な関係を築いた」と話した。

また謝長廷駐日代表は「展覧を通じて、台湾の多様性と創造力を示したい」とし「日本と台湾は少子高齢化社会に進んでおり、今回展示される AI、IoT、デジタル技術などを活かして社会問題を解決したい」と述べた。

非政府組織(NGO)中華文化總會は、デジタルをテーマにしたブースを設置し、台湾で普及するス

APEC が米サンフランシスコで開催 台湾特使は張忠謀氏

アジア太平洋経済協力會議(APEC)の首脳會議は11月15日~17日、米サンフランシスコで開催された。半導体受託生産世界最大手、台湾積体電路製造(TSMC)の創業者、張忠謀氏は台湾の特使として起用された。

蔡總統、各国との交流を期待
張氏の起用は民進党政権下で7回目、蔡英文政権下では6回目となった。首脳會議を前にして同10日には台湾總統府で蔡英文總統と面会し「期待に応えられるよう、最大限の努力をする」と語った。

蔡英文總統は張氏の起用について「これまでも各国代表と密接な交流を図り、台湾の国際的な認知度向上に寄与しただけでなく、台湾と他国のさらなる協力を促進した」と評価している。また、蔡總統は張氏に「APEC 参加国や國際社会に対して4つのメッセージを伝えてほしい」と期待を寄せた。台湾メディアによると、地域の平和と繁栄の促進やより柔軟性と強靱(きょうじん)性を持つサプライチェーンの構築を訴えると共に、デジタルシフトで経済発展を後押しし、デジタル



台湾を出発する張氏(写真:總統府)

格差の縮小に尽力するよう呼びかけることなどが含まれる。

中国側関係者から 台湾記者の取材妨害が相次ぐ
一方、同11日に開幕した APEC の会場となったモスコニセンターや各国代表団の宿泊先ホテルでは、厳重な警戒態勢が敷かれていた。中国の代表団が宿

泊するとみられるホテルの周辺ではプラカードを掲げて習近平國家主席に抗議する人の姿があったほか、台湾の記者が中国側関係者から取材を妨害される一幕もあった。台湾メディアによると、台湾側が撮影を行っている最中、中国側関係者から撮影を阻止されたという。撮影データの削除を強要し、一時口論も発生した。

首脳会談で自由貿易、投資環境の成果強調
首脳會談後に出された首脳宣言は「自由で開かれた貿易、投資環境を提供するという決意を確認した」と強調した一方で、中東で続く衝突やウクライナ戦争についての言及はなかった。

張氏は同19日に帰国。翌20日に總統府で蔡英文總統と非公式会見を行い、今回の首脳會談の成果について報告した。会見後の報道資料によると、張氏は期間中、米国のカメラ・ハリス

世界の都市総合ランキング2023 台北35位



台北は35位(写真: unsplash)

森記念財団(市川宏雄理事)の民間シンクタンク「都市戦略研究所」(竹中平蔵所長)は世界の都市の総合力を採点した「世界の都市総合力ランキング2023(Global Power City Index)」を11月9日に発表した。台北は昨年比で順位を一つ上げ35位となった。

ランキングは市川理事が発表した。世界の主要48都市を対象に「経済」「研究・開発」「文化・交流」「居住」「環境」「交通・アクセス」の6つの分野の合わせて70の指標で総合力を採点したもの。台北は「経済」で27位



市川宏雄理事

「研究・開発」で26位「文化・交流」で44位「居住」で22位「環境」で19位「交通・アクセス」で31位だった。

同所によると、「研究・開発」における台北の順位が昨年比で3ランク落とした理由として「世界トップ大学」や「スタートアップ数」の順位を落としたことが要因としている。また「文化・交流」における順位は昨年と同じ44位にとどまったが、評価は22年の57.3から59.2に上昇し、新型コロナによるダメージからの回復がうかがえる。



竹中平蔵所長

一方、台北が「居住」分野で4ランク上げた理由は「小売店舗の多さ」指標で8位を獲得したのが原因。国際的な人の往来が再開した社会を背景とした「アクター視点評価」では「居住者」「高度人材」でそれぞれ19位、20位に輝いたほか「経営者」「観光客」では36位、39位にとどまった。これは「ワークプレイス充実度」や「観光地の充実度」の不足が要因としている。

なお、ランキングのトップ5都市の順位には昨年と比べて変動がなく、1位はロンドン、ニューヨーク、東京、パリ、シンガポールの順で、東京は円安や新型コロナウイルスの回復が遅れなどから、賃金と生活コストが下がった。同所は「エリアごとの特徴としてオセアニア・アジアエリアで核となる都市の不在が目立つ」と説明している。

米中首脳会談 台湾海峡問題は平行線



1年ぶりの米中首脳会談(写真: バイデン氏 SNS)

アジア太平洋経済協力会議の首脳会談を前に、米バイデン大統領と中国習近平国家主席は現地時間の11月15日、米サンフランシスコで会談した。両国の軍事的対話の再開、人工知能の発展、危険ドラッグの取締りなどに意見交換をしたほか、台湾海峡問題にも触れた。

1年ぶりの米中首脳会談は約4時間に及んだ。バイデン大統領は単独で会見し「これまでで最も建設的で生産的な議論ができた」と述べた上で「両国はハイレベルの外交を維持し、追求していくことになった。私たちは、すぐに電話で直接連絡を取れるようにすることで合意した」と明らかにした。

台湾問題をめぐっては、バイデン氏は会談中に中国側に「台湾海峡の平和と安

定の重要性」を言及。中国による軍事的な活動を抑制するよう求めた。これに対し習主席は「アメリカは『台湾独立』を支持しないという態度をはっきりと具体的な行動で示し、台湾への武装支援などをやめ、中国の平和的な統一を支持すべきだ」と論じ、平行線のまま終わった。

なお、メディアから「ウクライナ戦争やイスラエル-パキスタン衝突は台湾への安全保障に影響があるか」との問いに、バイデン氏は「現在の『一つの中国政策』を維持する」とし「来年の台湾次期総統選をめぐって中国側に干渉しないよう求めている」と述べた。

台湾外交部の劉永健は同16日の定例記者会見で「評価し、歓迎する」とコメントした。

海巡警備隊に敬意 台北101でメッセージ点灯



台北101が点灯(写真: 中央社)

海上の緊急通報ダイヤル「118」にちなみ、海洋関係の主務機関、海洋委員会は11月8日夜、台北市の超高層ビル「台北101」に、海巡警備隊に敬意を伝えるメッセージを点灯させた。米国の船舶位置通報システム(AMVER)の「台湾チーム」発足式も併せて開き、世界の海難救助においてさら



記念写真(写真: 中央社)

に貢献していく台湾の姿勢を示した。台湾は2001年に「118」を導入し、これまでに船舶4593隻、計2万5319人を救助した。台北101ではこの日、「118海巡最前線」「感謝海巡英雄」などの文字が点灯(とも)された。

台湾チーム発足式には陳建仁行政院長や海

洋委の管碧玲主任委員、米国の対台湾窓口機関、米国在台協会(AIT)のサンドラ・オウドカーク台北事務所所長らが出席した。

AMVERは海上での救難活動を迅速に行うことを目的に、米国が1958年より運用している制度。海難発生時、遭難船舶の位置を他船に通報し、救助要請を行う。オウドカーク氏によると、現在では全世界で2万2000隻以上が加入し、大規模なネットワークが構築されている。

台湾では今年初頭までに36隻の商船がAMVERにすでに加入していたが、同1月末に海洋委主任委員に就任した管氏の働きかけにより、新たに118隻が加入した。海洋委によると、加入の呼びかけに対し、台湾の海運各社のほか、遠洋漁業関連の同業組合や各社が賛同したという。管氏は「『AMVER台湾チーム』の発足は、台湾の海の安全において米国との協力関係がさらに発展したことを象徴するものだ」と喜びを示した。

日本窓口機関代表に 片山和之氏が着任



泉裕泰前代表が11月6日をもって退任(写真: 日本台湾交流協会)

日本対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所の新任の片山和之代表は11月17日、台北に到着し、SNSを通じて台湾市民に挨拶した。

日本台湾交流協会の公式SNSで同20日に公開された動画に出演した片山氏は、泉裕泰前代表から引き継ぎを受ける形で、冒頭「台湾のみならず、これからよろしくお願ひします」と挨拶。好きな食べ物について「台湾の食べ物全部好き」と笑顔で語り、今後台湾で一番やりたいことに「いろんなところを訪れて、台湾の多様性を体験します」と答えた。

さらに同協会のホームページに載せた着任挨拶では、米国の大学院に留学していた頃、台湾の民主化をテーマとした修士論文を執筆した経験に言及し、今回台湾への赴任について「深い感慨を覚えて



片山和之氏、台北事務所代表に就任(写真: 日本台湾交流協会)

いる」と述べた。

また今後の任務については3つのポイントを示し、1つ目は在日日本人の安全や経済活動を促進すること、2つ目は台湾人との直接交流を経て「日本ファン」を増やすこと、最後は台湾の社会や文化をさらに深く理解することを挙げた。

1972年をもって台湾との正式な外交関係を切った日本。実務関係を維持するため同年12月1日から前身の「財団法人交流協会」を設立し、台北と高雄に事務所を設置した。台北事務所は大使館の機能として発揮し、歴任事務所代表はほぼ日本の駐外大使を経験した者が着任している。

片山氏は1983年に外務省入り、海外では中国に5回、米国に3回、ベルギー及びマレーシアに1回ずつ在勤し、ペルー特命全権大使を3年間に務めていた。

ウクライナ復興支援に台湾がチェコと協力 民主主義国家の団結アピール



台湾とチェコ、ウクライナ復興支援に合意(写真: 外交部)

台湾の対チェコ窓口機関、駐チェコ台北経済文化弁事処の柯良淑代表とチェコのスタイン駐台代表は11月10日、ウクライナの重要なインフラ再建を促進するパートナーシップに関する了解覚書に署名した。民主主義国家の団結と互助を発揮し、戦争で破壊されたウクライナの復興を目指す。



台湾在住のウクライナ人クリン氏が支援に感謝(写真: 外交部)

署名式は台湾外交部の李淳政務次長とチェコ政府の特使コベキニ氏が出席し、リモート形式により開催された。双方は具体的な支援として、主にウクライナの浄水処理施設及び熱電併給エネルギーシステムの再整備を行う。

李氏は「この覚書には台湾とチェコによ

るウクライナ支援プロジェクトの方向を指し示す意義がある」とし「両国の政府が協力してウクライナを支援する初めてのケースで、具体的な行動でウクライナの生活用水や電力といった基本的なニーズを守っていくとするもので、理念の近い国々がウクライナの主権と民主主義を守り抜くというコミットメントを表している」と述べ、台湾は今後も実際の行動でウクライナを支えていく意向を示した。

コベキニ氏は「チェコがウクライナへの軍事支援を真っ先に行った国の一つである」と説明した上で「エネルギー面でのロシア依存から脱却出来たことや、国の領土と主権を断固守り抜こうとするウクライナの決意こそが、各国が援助の手を差し伸べるカギになっている」と語った。

なお、台湾外交部は今回の協力を基にウクライナ支援の計画を継続し、協力の分野を徐々に拡大していくとの判断を示し、民主主義国家の団結と人道支援の価値観を実現するとしている。

日台地方議員が仙台でサミット 台湾の国際組織への参加に働きかけ



第9回日台交流サミットが仙台で開催

日本と台湾の交流促進を目指す「第9回日台交流サミット」が11月18日、仙台市で開催され、日台双方の地方議員らが参加した。採択された「仙台宣言」では、台湾が世界保健機関(WHO)や国際民間航空機関(ICAO)などの国連システムに一日も早く加盟できるよう、日本にさらなる働きかけを行うことなどが記された。

サミットは実施委員会の主催で、日台交流に取り組む日本の地方議員で構成される「全国日台友好議員協議会」が共催した。

日本側は宮城県村井嘉浩知事、仙台市郡和子市長、小野寺五典衆議員などが出席。台湾側は謝長廷駐日代表のほか、台南市議会の邱莉莉議長をはじめとする同市市議15人が参加した。また、頼清徳副総統よりサミット開催を祝したビデオメッセージが送られた。

謝代表は演説で「1971年に採択されたアルバニア決議の内容には台湾の国際組織への参加禁止に関して、一切提示されていない」とし、台湾による国際組織への参加



佐藤仁町長が演説



謝長廷駐日代表が挨拶に期待を寄せた。また、来年に台南市で開催される予定の「第10回日台交流サミット」について「必ず成功できる」と自信を見せた。

一方、宮城県南三陸町の佐藤仁町長も、東日本大震災後同町の復興をテーマとしてスピーチに立ち、ドキュメンタリーを合わせて復興の状況について説明した。同氏は最後に「南三陸町の復興は順調に進んでいる」とし、台湾からの援助に謝意を示した。

気候変動と人権に関する 国際カンファレンス開催



気候変動と人権に関する国際カンファレンス開催(写真: Taiwan Today)

国家人権委員会は11月22日～23日、台北市内で「気候変動と人権: 国内人権機関の役割」をテーマにした国際カンファレンスを開催した。フランス、フィリピン、マレーシア、モンゴルなどの国内人権機関等の代表、台湾の学者・専門家や政府関係者、民間団体など約200人が参加した。

国家人権委員会の陳菊主任委員は開幕の挨拶で「国連総会で『世界人権宣言』が採択されて今年でちょうど75周年になるが、この『世界人権宣言』第3条が定める『生命権』や第25条の『健康権』は、気候変動によって影響を受けている人々の権利を守るための基礎となっている」と指摘。台湾にとっても、とりわけ気候変動による影響については、人権への影響に

優先的に関心を向けなければならないと述べた。

初日は気候変動が人権に与える影響に焦点を当てた。具体的には、気候変動が弱者に与える影響を、海外の人権機関、学者、台湾の政府関係者、民間団体などが議論。2日目は国内人権機関の職権に焦点を当て、国内人権機関の独立性と有効性をいかに強化すべきかが話し合われた。

国家人権委員会が国際カンファレンスを開催するのは2021年以来。今年「世界人権宣言」の採択75周年の節目の年であり、国連人権高等弁務官事務所は11月のテーマを「環境と気候変動」としている。これを受けて今回のカンファレンスは気候変動と人権をテーマに取り上げることに決めた。



台湾最大規模の旅行展 延べ34万人来場



4日間延べ34万人が来場(写真:中央社)
台湾最大級の旅行展覧会「台北国際トラベルフェア」(ITF)が11月3日から6日まで、台北市の南港展覧館で開催された。主催の台湾観光協会は「4日間の来場者数は延べ34万4475人で、昨年より76.3%増加した」と発表。「人気も購買意欲も当初



チェコ観光局日本と台湾弁公室のパブリック主任(写真:中央社)の想定を上回った」とした。協会は「出展した複数のホテルグループで毎日の売上げが1千万台湾ドル(約4660万円)を超え、複数の旅行会社でも4日間の累積売上げが1億台湾ドル(約4億6600万円)を突破した」と報告。多く

の業者が、購買意欲が回復して新型コロナウイルス流行前の2019年の水準を上回ったとの手応えを示したという。

また、多くの旅行会社が「日本や韓国、東南アジア方面の旅行商品を主力販売していた傾向が顕著だった」と分析。冬休みや旧正月連休が近いため、欧米やオーストラリア、ニュージーランドなどへの旅行も人気で、近年積極的に台湾市場での売り込みを図るクルーズツアーの販売も盛況だったとした。

なお、チェコ観光局をはじめ、多くの国の観光関連機構もITFに出展。チェコ観光局の日本と台湾弁公室のパブリック主任は、台湾メディアの取材に対し「台湾とチェコのチャーター便をもっと増やしてほしい」と答え、台湾観光客の招致への意欲を示した。

最終日に行われた閉幕式で同協会の葉菊蘭会長は「24年は会場をさらに大きくする」との方針を示し、同年11月1日から4日まで開催すると発表した。

台湾成功大と熊本高専 覚書交わす



成功大の蘇炎坤学部長と熊本高専の高松洋校長(写真:成功大学)
台湾台南市にある国立成功大学は11月9日、熊本県の熊本高等専門学校(高専)と半導体分野での人材育成に向けた協力覚書を交わした。成功大によると、双方は今後、技術関連の教育課程や研究資源、熊本の現地企業のニーズに合致する能力を持つ人材の育成に関して協力する。半導体サプライチェーンの発展を重要視

する台湾。成功大は半導体産業におけるハイレベルな人材を育成しようと、2021年に台湾初の半導体関連学部「知恵半導体及永続製造学院」(スマート半導体・持続可能な製造学部)を新たに設立した。調印式は熊本高専で行われ、同学部の蘇炎坤学部長と同高専の高松洋校長が覚書にそれぞれ署名した。蘇氏は今回の提携を



大勢の日本メディアが取材(写真:成功大学)きっかけに、学術や研究分野が進展することに期待を示し、学生や教員の交流拡大を願った。高松氏は両校の研究、教育交流が長期にわたって続いていけばと話した。

成功大が同日発表した報道資料によると、覚書には双方の研究交流や交換留学、短期研修の実施などが盛り込まれている。

熊本県には半導体受託製造の世界最大手、台湾積体回路製造(TSMC)が新工場を建設中。同社は来年末までに新工場を生産を開始し、回路幅線12ナノ(ナノは10億分の1)メートル、16ナノ、22ナノ、28ナノ品を主に生産する予定だとしている。

訪台外国人旅客500万人突破 目標の600万人に迫る



周永暉署長とクンピバルさんが自撮り撮影(写真:交通部観光署)

台湾交通部観光署は11月2日、桃園国際空港から入国したタイ人観光客クンピバルさんを、今年の延べ500万人目の訪台外国人旅客に認定した。同署は「インバウンド事業への助成をさらに強化し、訪台外国人旅客の誘致に全力を挙げる」と意気込んだ。

同署の周永暉署長が今年500万人目の外国人旅客を歓迎するため、同日に自ら空港へ駆けつけた。500万人目に認定されたクンピバルさんには同署のマスコット「喔熊」の記念グッズのほか「台湾高速鉄道・台湾鉄道のW乗車券」、「桃園 Metro 空港線+台北 Metro 3Dayパス」、「台湾好行(観光シャトルバス)」の乗車券、台湾のホテル宿泊券などをプレゼントした。「ぜひ近いうちにまた友達を連れて台湾へ遊びに来て欲しい」と伝えた。



クンピバルさん(右)が500万人目旅客に認定(写真: Taiwan Today)

クンピバルさんにとって3回目の台湾旅行。取材に対し「滞在予定期間は5日間で、台北市のほか、台中市の彩虹眷村などの観光スポットを巡りつもり」と語った。台湾の良い点については「台湾の美味しい食べ物食べて、美しい景色が見られるのを楽しみにしている。この機会に台湾旅行の多様な魅力をたっぷり味わいたい」とコメントした。

またクンピバルさんは5000新台湾ドル(約23000円)分の電子マネーが当たる抽選にチャレンジし、見事電子マネーをゲットしたという。周署長は「今年の目標はコロナ前(2019年)の半分に相当する延べ600万人の台湾訪問を呼び込む」と説明した上で「10月までの統計によると、東南アジアおよびオーストラリアからの観光客の回復が顕著で、コロナ前の9割以上に回復している」と述べた。

中日工程技術研究会 台北で開催



中日工程技術研究会が開催(写真:中央社)

台日の工学の専門家らが一堂に会する「中日工程技術シンポジウム」が11月20日、台北市で開催された。王美花経済部長は開幕式典に出席し、水素エネルギーや半導体の分野で日本との協力を意欲を示した。

王氏は「水素エネルギーは台湾が日本との協力を強く望む分野だ」と言及。神戸を訪れた際に水素運搬船や水素受け入れ基地を見学したことに触れ、日本の経験を参考にしたい考えを示した。

さらに、半導体産業における台日の協力についても言及した。台湾積体回路製造(TSMC)が建設中の熊本工場について、海外での新工場建設計画において「最も早期に完成する」とし「日本の国と地方双方の支持のおかげ」と評価。「台日は人材の背景や仕

事の文化の面で似通っており、台日の協力は半導体分野での連携に伴って新たな発展の波を巻き起こすことだろう」と述べた。

また、半導体製造に必要な材料の分野で「日本が世界の最先端」との認識を示し、中小規模の「隠れたチャンピオン企業」も多く存在しているとした上で「最先端プロセスや研究開発の中心地である台湾に日本の材料メーカーが投資すれば、ウィンウィンの結果を創り出せる」と語った。

同シンポジウムは台湾の工学の専門家らで構成する「中国工務師学会」の主催。1980年から台湾で開催され34回目となる今回は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ネットゼロ」や持続可能な経営、温室効果ガス排出削減技術などに焦点が当てられている。

台湾工研院設立50周年 日台連携に期待



台湾の公的研究機関「工業技術研究院」(劉文雄院長)は11月13日、今年7月に設立50周年を迎えた事を記念して、東京で記念式典を開いた。劉院長は「台日の2強で手を組み、産業と経済の発展に新たな価値をつくり出したい」と期待した。同院による海外で同様な大規模イベントは初めて。劉氏は1987年に日本事務所が設置されたことに触れ「第一線という有利

さを生かして産業や学校、研究機関、団体などの協力プラットフォームを構築し、研究開発協力や技術商業化、サプライチェーンの補完、投資の促進などを通じてウィンウィンの関係をつくってきた」と説明。工研院は架け橋となって日台連携を強化できると強調した。王美花経済部長は式典の挨拶で「工研院が産業のレベルアップや国際イノベーション



劉文雄院長、日台連携に期待(写真:中央社)ンの役割を果たしている」と評価し「今年9月には九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会(SIIQ)と了解覚書(MOU)を締結し、台日双方にプラットフォームを置く半導体分野の連携で、協力の対象が地域全体の産業に広がった」と述べた。

また謝長廷駐日代表は「工研院が引き続き時代の先端を走り、イノベーションと研究で台湾の次の50年の経済と産業発展の新たな局面を切り開き、台湾を世界の舞台で輝かせることに期待する」と述べた。

台湾の最先端工業技術を導いている工研院。7月に行われた記念式典に出席した蔡英文総統は「台湾を労働集約型の産業構造から技術主導型のハイテク大国に変え、半導体産業発展の基礎を築いた」とし、工研院の貢献に感謝した。

アバンギャルディが 台湾の旧正月番組に出演で訪台



アバンギャルディ、台湾の旧正月番組に出演(写真:中央社)
日本のダンスグループ「アバンギャルディ」が台湾の旧正月特別番組「WE ARE 我們的除夕夜」の収録に参加するため、11月15日から4日間の日程で訪台し、48時間に及ぶ撮影に臨んだ。米国の人気オーディション番組に出演し、



月下老人に参拝したメンバーたち(写真:中央社)異彩を放った同グループ。台湾の非政府組織(NGO)中華文化総会の誘いで、同総会が製作する旧暦大みそかに当たる2月9日に放送される特別番組に「台湾の浜崎あゆみ」の異名を持つタレントの王彩樺と共演する。出演までの経緯について、李厚慶秘書長は「同

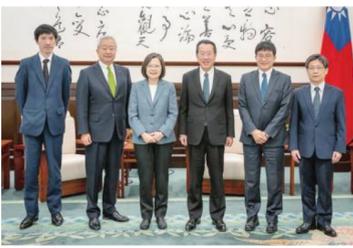
番組放送時からアバンギャルディに注目しており、出演を打診した」と説明。アバンギャルディ側から即座に応じてくれたという。

アバンギャルディは訪台中、台北市内の観光地各所でパフォーマンスを行い、その中に古い街並みが残る大稲埕の路上で踊る動画が同17日にSNSで公開され、1千万以上が再生されている。

大稲埕にある台北霞海城隍廟の関係者は取材に「ここでの撮影は朝8時から始まり、近隣の店の店員や通行人など100ほどの人が集まり様子を見ていた」とし、メンバーらは撮影の間に縁結びの神様、月下老人に参拝したという。

「分野を超えた共演」を最大の特徴としている「WE ARE 我們的除夕夜」。同総会によると、アバンギャルディに共演相手として複数の台湾アーティストを提示したところ、アバンギャルディ側が独特なリズム感と強い台湾らしさを兼ね備えた王氏の曲「保庇」に興味を示したため、両者の共演が決まったという。

蔡総統がNTT会長と面会 連携による成果を期待



記念写真(写真:総統府)

蔡英文総統は11月24日、台北市内の総統府でNTTの澤田純会長と面会した。NTTグループを台湾が協力を続ける良きパートナーだと評価するとともに双方の連携で、より多くの成果を出せるよう期待を寄せた。

台湾の通信大手、中華電信は先月下旬、澤田氏立ち会いの下、NITと次世代情報通信技術「IOWN」(アイオン)による国際ネットワーク接続の実現に向けた基本合意書を締結した。双方は今後、同技術による台日間の国際ネットワーク接続の実現やIOWNに関するビジネスと



澤田純NTT会長(左)に記念品を贈る蔡英文総統(写真:総統府)

セキュリティの協業を目指していく。蔡氏はこれに言及。2社が手を組むことにより、台湾での同技術の普及や応用を加速させる他、台湾の人々により多様な情報通信技術サービスを提供できると述べた。情報通信技術分野で引き続き日本との協力を深めたい意向も示した。

IOWNは「Innovative Optical and Wireless Network」の略称で、意味は「光ベースの革新的なネットワークの構想」。低遅延や低消費電力、大容量・高品質のネットワークの実現を目指し、NTTが2019年に提唱した。

台湾の林昀儒が卓球男子シングルスで優勝



林昀儒が今季2勝目(写真:中央社)

独フラン克福ルトで開かれたワールド テーブルテニス(WTT)チャンピオンズ フラン克福ルトは現地時間11月5日、男子 シングルス決勝が行われ、台湾の林昀儒が

中国の馬龍を4-1で破り優勝した。9月の WTTコンテンダーアルマイトに続き今季2 勝目を挙げた。世界ランキング12位の林は今大会、1回

戦、2回戦でドイツの2選手を立て続けに 破り、準々決勝で日本の張本智和(世界ラ ンク7位)と対戦。3-1で勝利を取めた。 準決勝では世界ランク2位の中国の王楚欽 を下し、決勝に駒を進めた。決勝の相手、 馬は世界ランク3位。これまでに8回対戦 し、3勝5敗と負け越しているが、直近の4 月のWTTチャンピオンズ新郷では3-1で 勝利していた。

林は序盤でリードするも逆転を許し、 第1ゲームを落とした。続く第2ゲームは リズムを取り戻し、再びリードの展開に。 途中ミスが相次ぎ、1点差まで追い付かれ たものの、11-7で奪取。第3、第4、第5 ゲームも激しい攻防が繰り広げられたが林 が連続で取り、大会を制した。

林は試合後のインタビューで「大会を制 することができたのはとてもうれしい」と 喜び「馬龍選手は世界で最も偉大な選手。 思い切った戦おうとの気持ちで試合に臨ん だ」と話した。世界ランクで格上の選手を 次々と破って優勝したことについては「こ んなふうに勝ち進めるなんて思ってもみな かった」と話した。

EXILEが台北で初の海外単独ライブ開催へ



EXILE、台北でライブ開催へ(写真:中央社)

人気グループ「EXILE」が初の海外 単独ライブとなる「EXILE LIVE 2023 in TAIPEI」は12月9日、台北市内の台 北流行音楽センターで開催する。出演 メンバーの一人、AKIRAが11月2日、 台北市内で開かれた合同取材会に出席 し、台北公演をPRした。台北公演に はAKIRA、TAKAHIRO、KENCHI、 TETSUYA、NESMITH、SHOKICHIの 6人が出演する。

レコーディングを行ったことをSNSで明か している。

艾とのコラボについてAKIRAは 「EXILEは以前からさまざまなジャンルの 音楽に挑戦しており、艾は音楽のジャン ルにおいてEXILEととてもマッチしてい る」と話した。

昨年1月末にモデルで俳優の林志玲との 間に第1子男児が生まれたことを発表した AKIRA。息子が泣き叫んだ時には童謡に 合わせて踊るという。さらに、流行音楽に 合わせて踊るという。さらに、流行音楽に ストリートダンスの動きを合わせることも ある、と明かし「息子はとても気に入って いる。子供も(かわいいバージョンと勇ま しいバージョンで)エネルギーの違いが分 かっていて」と子育てエピソードを披露し た。

AKIRAは台北公演について「台湾で ライブを開くのはずっと夢だった」と喜 び、さらにゲストとしてシンガーソング ライターの艾怡良を誘うことも明らかに した。きっかけは、艾と昨年大晦日に台 南市で行われた年越しイベントの出演。 その後、AKIRAを通じてEXILEの間に コラボレーションが生まれた。艾は今年 10月、東京でSHOKICHIと共に新曲の

チケットの販売はすでにチケット販売サ イトで始まっている。

華測会が日本 TOCFL CAT 試験場視察 華語教育普及に期待



今年6月の覚書締結式

台湾国家華語検定推進委員会(華測会)の 陳柏熹執行長と劉玲君マーケティング運営 長は11月2日から同6日、社団法人日本国 際交流協会の馮彦国CEOを伴い、関東地 方華語教育関連機関である「東京新宿御苑 校」及び「茨城佐貫校」など、華語教育機 関のTOCFL CAT指定校を訪問した。

協会と『海外代理協力覚書』を締結し、 TOCFL CAT試験を推進している」と説明 し、TOCFL CAT試験における日本国際交 流協会からの支援に感謝した。

陳柏熹執行長は「華測会は日本地域の TOCFL CAT華語(台湾華語)能力試験 を推進するため、今年6月に日本国際交流

劉玲君マーケティング長は「馮CEOの 手配で新宿と佐貫のTOCFL CAT指定試験 場を訪問しました。両校は共に駅に近く、 新しい設備もそろっている」と評価し「来 年はより多くの受験生がTOCFL CATの試 験を受験することを期待している」と述べ



8月に行われた TOCFL CAT 華語能力試験 場。

馮彦国CEOは「華測会は日本のTOCFL CAT試験を重視し、日本国際交流協会も 今年の夏休みの間にTOCFL CAT華語能力 試験を3回行った」と説明。また華測会が 試験場の選定を評価したことに謝意を示 した。さらに「日本国際交流協会が東京や茨 城に試験場を設置するだけでなく、横浜 国際学園や名古屋国際学院などの両校にも TOCFL CAT指定試験場を設置した」と述 べ「将来は各地の華教機関との交渉に力 を入れるほか、TOCFL CATの運営や試験内 容の改革なども従事し、日本の受験生によ り良いサービスを提供する」とした。

なお、日本国際交流協会によると、来年 1月のTOCFL CATは、関東及び関西地方 で行う予定で、台湾留学を志望する日本人 や外国人の受験を呼びかけている。

台湾の民主化発展史を書籍に



台湾の民主化発展史を書籍に(写真: Taiwan Today)

台湾立法院(游錫堃院長)はこのほ ども、2021年以降開催されている「台湾 議会設置請願運動百年展」「サンフラン シスコ講和条約発効70周年特別展」 「民主国会三十年特展」「台湾議会期成 同盟会成立・治警事件百年展」などの 特別展の内容をまとめた「立法院台湾民 主百年追求シリーズ特展套書」を発行し た。

立法院は、こうした台湾の議会政治の発 展の歴史をたどり、民主主義のために奮闘 してきた先人たちの足跡とその歴史的意義 を顕彰するため、2021年以降「民主主義 を追求した台湾の100年」をテーマにした 一連の特別展を開催したと説明。議政博物 館や関連の組織、学者・専門家に協力を 仰ぎ、関連の史料を丹念に収集して整理 し、台湾の民主主義の発展の苦難の歴史な どを系統立て、展示したもの。

游院長は11月14日に同院紅楼で行わ れた発表会に出席し「党国体制による教 育により、台湾人は中国史の勉強を強い られ、自分が生まれ育った土地について は、まるで異国のことのように何も知ら ずにいた」と指摘し、その一例として 100年前の「台湾議会設置請願運動」を 挙げた。

今回出版したシリーズ書籍は、これらの 特別展の内容をまとめたもので、教育機関 が教学に使用し、各機関団体、海外の学 者、シンクタンクなどが研究のための取 蔵が目的とされる。游錫堃院長は「これが きっかけとなって台湾の人々がさらに台 湾史について学ぶよう期待する」と述べた。

味全ドラゴンズが24年ぶりに台湾シリーズ制覇



味全ドラゴンズ、24年ぶりの優勝(写真:中央社)

台湾一を懸けた台湾シリーズが11月12 日、台北天母野球場で第7戦が行われ、味全 ドラゴンズ(台北市)が6-3で楽天モンキーズ(桃園市)を下し24年ぶりに優勝した。

味全ドラゴンズにとっては1999年以 来の初勝利。今大会で味全の監督を務め、 1999年の優勝に主力投手として勝利に導い た葉君璋監督は「監督生涯の2度目の優勝 だが、味全が再び優勝となったのは感慨深 い」と涙ながらに語った。

シリーズは4勝先取で年間王者の座を争 う。シリーズ進出を懸けて前期優勝で年間 勝率2位の統一ライオンズ(台南市)と同3 位の楽天が戦ったプレーオフでは、楽天が 3連勝で統一を破り、2年連続台湾シリーズ 進出を果たし、史上初の「北台湾大戦」と なった。

初戦と第6戦に先発投手として楽天を抑 えた徐若熙がシリーズMVPに選出。報道陣 の取材に対し「MVPに選ばれるとは思わ なかった」とし「私にとってチーム全員が MVPだ」と語った。

シリーズ初戦から激戦を繰り広げ、3-3で 第7戦に突入。楽天が1回表に廖健富の安打 で先制点を奪ったものの、1回裏に先発投手 のダルバークのコントロールが悪かったた



MVPに選ばれた徐若熙(写真:中央社)



優勝に導いた葉君璋監督(写真:中央社)

台湾プロ野球初年度のチャンピオンでも ある味全ドラゴンズ。1997年から99年ま で3連覇を果たしたが、同年台湾プロ野球で 蔓延した八百長事件の影響で、当時のオー ナー魏應行が解散を宣言した。2019年に台 湾プロ野球への復帰を果たしている。



アジアプロ野球チャンピオンシップ、台湾が3位(写真:中央社)

アジアプロ野球チャンピオンシップ 台湾が3位

第2回アジアプロ野球チャンピオン シップ(APBC)は11月16日~同19日 の4日間、東京ドームで行われた。日 本野球機構(NPB)、オーストラリア 野球連盟(BA)、中華職業野球大連盟 (CPBL)、韓国野球委員会(KBO)が 参加した。

翌17日のオーストラリア戦では延長タ イブレークまで戦った末に6-0で勝ち、大 会初勝利を飾った。0-0のまま迎えた延長 タイブレーク10回、統一ライオンズの林靖 凱の満塁本塁打などで一挙6点を奪った。

アジアにおける若手選手の育成を目的 としたAPBC大会。第1回大会は2017年 に開催され、日本が2戦2勝で初代の王者。 22年に開催する予定だった第2回大会 は新型コロナの影響で中止となり、 23年11月に延期された。

一方、同18日に開かれた予選最終戦で は1-6で韓国に敗れ、決勝進出を果たせな かった。韓国は1回、東北楽天ゴールデン イグルス所属の王彦程の乱調をチャンス に変えて先制点を得た。さらに2回、先頭 打者金周元の安打と台湾の送球ミスなど で1死満塁となり、連続適時打を放ってリー ドを一気に拡大した。台湾が4回に味全ド ラゴンズの劉基鴻のソロホームランで1点 を奪い返したものの、打線が封じ込まれた。

台湾は今大会、1勝2敗で3位。なお決勝 戦では日本が延長サヨナラ勝ちし、2大会 連続優勝を果たした。



応援を送るファンたち(写真:中央社)

Digest News / November 2023

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Nov.1 台湾と日本の「日南駅」が姉妹駅に

台湾鐵路管理局とJR九州はこの日、台湾台中市の日南駅と宮崎県日南市の日南駅の姉妹駅協定を結んだ。台鉄は「台日間の鉄道文化交流や相互訪問を促進し、地方創生をもたらしたい」としている。台湾の日南駅は日本統治時代の1922(大正11)年に完成。100年以上の歴史があり、台湾で数少ない木造駅舎の一つとして観光スポットになっている。台鉄によると、日本の鉄道会社と同名にちなんだ姉妹協定を結ぶのは5駅目。台鉄の陳社謀主任秘書は「台日の日南駅は、いずれも海岸線にあり、背景が似ている」として、地方の発展促進に期待を寄せた。



台湾と日本の「日南駅」が姉妹駅に(写真:中央社)

Nov.6 「阿里山貴賓館」が修復終る 日本統治時代には皇族も宿泊

台湾嘉義県の景勝地、阿里山国家森林遊楽区にある県定古跡「阿里山貴賓館」がこのほど、8年間にわたる調査、修復などを終えた。今後は作品展示や飲食などの用途で活用される見通しで、入札による外部委託の運営者を募る。台湾農業部林業・自然保育署嘉義分署によると、同古跡は日本統治時代に建てられ、日本の皇族が滞在したほか、戦後は蒋介石元総統が別荘として利用した。東側が日本式、西側が西洋式という洋折衷の構造が特徴だという。修復は日本統治時代の図面に基づいて行われた。また、空調などの設備が新たに整えられた。



「阿里山貴賓館」が修復終る(写真:中央社)

Nov.7 人間国宝の杜秀英さん死去、文化部が表彰へ

台湾原住民ルカイ族伝説の入れ墨を両手に施した杜秀英さんが5日に亡くなったことが分かった。享年100歳。台湾文化部はこの日、文化や芸術に功績を残したとして杜さんを表彰する方針を固めた。杜さんは1924年生まれ。屏東東三脚山脚青葉集落で暮らし、9月15日には東政府が保持者として認定していた。史哲文化部長は報道資料で追悼の意を示したほか、入れ墨の保存活動や儀式に積極的に取り組み、台湾の歴史と無形文化遺産に重要な印を残したと杜さんを讃えた。



百歳の大往生を果たした人間国宝の杜秀英さん(写真:中央社)

Nov.9 ドンキ、台湾4号店がオープン

日本発のディスカウントストア「ドンキホーテ」の海外向けブランド「DON DON DONKI」を台湾で運営する台湾パン・パシフィック・リテール・マネジメントはこの日、台中市に台湾4号店「DON DON DONKI 台中タイガーシティ」をオープンさせた。新ブランドのすし店「寿司わか桜」を併設するほか、店内ではメイド姿の店員が接客を行う。DON DON DONKIは2021年1月、台北市の繁華街、西門町に1号店がオープン。現在は台北市内で3店舗を運営しているほか、高雄市にも店舗を設置することが伝えられている。



ドンキ、台湾4号店がオープン(写真:中央社)

Nov.10 タイ、台湾人のビザなし入国解禁

タイ王国はこの日、台湾のパスポートを持つ観光目的の旅行者に対して、ビザなしでの入国を解禁した。2024年5月10日まで、1度の入国につき最長30日間の滞在が可能になった。これまでは観光ビザが必要で、1人当たり毎回1200新台湾ドル(約5600円)の申請費用がかかっていた。同日に桃園国際空港からタイに向けて出発した王さんは「友人ら十数人と合わせて新台湾ドル(約4万6800円)以上の節約になった」と喜び、宿泊代を含めても台湾国内旅行よりも安いと語った。



タイ、台湾人のビザなし入国を解禁(写真:中央社)

Nov.11 台南市、世界の訪れるべき30カ所へ選出

米旅行誌「ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー」がこのほど公表した「2024 クールリスト」に、台南市は歴史的建造物の豊富さやストリートグルメなどが評価されたことで掲載された。同誌は台南市を「この国最古の都市が400歳の誕生日を迎える」と紹介。1624年にオランダ人が「ゼーランドシア城」を築いたことが街の基礎を作ったと説明した。またオランダの他に中国や日本などの影響も受けていると、日本統治時代に建設された台南武徳殿や清朝時代の建築物が並ぶ神農街など、多くの建造物から都市の歴史を見て取れる

としている。台南のほか、アジアではインドのシッキムと中国の西安がリスト入りした。



台南市、世界の訪れるべき30カ所へ選出(写真:unspalsh)

Nov.13 阿里山鉄道で紅葉狩り観光列車運行へ

阿里山鉄道運営する台湾農業部阿里山林業鉄道・文化資産管理処はこの日、蒸気機関車やディーゼル機関車けん引する観光列車を紅葉シーズンの12月に同鉄路で運行すると発表した。紅葉狩りや百年以上の歴史を持つ同鉄路の魅力を体験してほしいとしている。観光列車は午前9時半過ぎに阿里山駅で出発。途中複数の駅で下車して植物園の見学や森林歩道の散策などを実施して午後4時頃に阿里山駅に戻る。ガイドが同行し、歴史や風景、山林、鉄道などについて解説するという。定員は各回80人で、予約は運行日の14日前から同処のウェブサイトですべて受け付ける。



蒸気機関車が観光列車に(写真:中央社)

Nov.14 ランナーの関家良一さん、台湾一周スタート

日本のウルトラランナー関家良一さんがこの日、台湾を走って一周する旅のスタートを切った。17日間かけて約1115キロを走る予定。関さんは2012年にも台湾の東日本大震災復興支援に感謝を表すために台湾を走って一周した経験がある。また05年から12年にかけて台湾東呉大学が主催する国際ウルトラマラソンを7連覇したこと、今回は同大学をスタート、ゴール地点とした。同大の潘維大学長によると、関さんは世界平和を呼びかけようと、ランニングでの台湾一周を選んだという。



台湾一周を出発する関家さん(写真:中央社)

Nov.15 建て替えの南門市場正式オープン

建て替え工事が行われていた台北市の南門市場がこの日、新たな建物として正式オープンした。記念式典に出席した蒋万安台北市長は、10月7日のプレオープン以降、客足が絶えないとした上で、引き続き市の名刺代わりにするためにPRに取り組む考えを示した。日本統治時代の1907年から始まった南門市場。従来の建物の耐震性が不足していたなどで、4年前から建て替え工事が行われていた。市場に入居する業者は、観光客が多いとし、なじみの客が戻る

かどうかは来年の旧正月期間になるまで分からないとの見方を示した。



建て替えの南門市場が正式オープン(写真:中央社)

Nov.16 W杯アジア予選、台湾が黒星発進

サッカー台湾代表はこの日、2026年カナダ・メキシコ・アメリカ大会の出場権を巡るアジア予選第2ラウンドの初戦でオマーンに0-3で敗れ、黒星発進となった。オマーン(世界ランキング72位)、キルギス(同97位)、マレーシア(同137位)とDグループに入った台湾(同152位)。マスカットで開かれた初戦では、試合開始からオマーンの連続攻撃を受けたが、GK潘文傑の活躍でゴールを許さなかったものの、抑えきれず前半2点を奪われた。後半には台湾代表がゴールを奪い返すための攻

勢をかけたが得点できず、アディショナルタイムに追加点を許した。



台湾代表がオマーンに敗れ、W杯アジア予選(写真:中華民国サッカー協会)

Nov.17 基隆要塞司令部が新たな息吹

台湾基隆市の市定古跡「基隆要塞司令部」がこのほど、修復を経て文化施設「司令大院子」として生まれ変わり、営業が開始された。展示スペースや飲食施設を備え、屋外ではクリエイティブ商品を販売するマーケットを開催する。この日の開幕式に出席した謝国樑基隆市長は、同施設のオープンによる地域活性化に期待を示した。基隆要塞司令部は日本統治時代の1896(明治29)年に設立された基隆要塞指揮所を前身とし、1903年に正式に要塞司令部となった。基隆だけでなく、台湾北部の最高軍事指揮センターの役割を担った。市は古

跡の活性化のため、外部の業者に運営を委託し、文化施設として新たな息吹を注いだ。



基隆要塞司令部が文化施設に変身(写真:中央社)

Nov.18 台日経済交流促進に尽力 実業家の許文龍氏が死去

台湾の大手化学メーカー「奇美実業」を中心とする奇美グループの創業者、許文龍氏がこの日の午前、死去したことが分かった。95歳だった。同グループが明らかにした。許氏は日本統治時代の1928(昭和3)年、台南市生まれ。台日経済関係の強化や交流促進、日本企業の国際化などに貢献し、2013年には日本政府の秋の外国人叙勲で旭日中綬章を受章した。東日本大震災の発生後には、多額の義援金を送ったほか、被災地の雇用や復興支援にも取り組んだ。17年に台南市の烏山頭ダムに設置されている、台湾の水利事業に貢献した八田一

技師の銅像が壊された際には、同グループの奇美博物館に対し修復に協力するよう指示を出した。



許文龍氏が死去(写真:中央社)

Nov.19 台南の文学史まとめた書籍、3年かけ完成

台南の文学史をまとめた書籍シリーズ「台南文学史」の新書発表会がこのほど、台南市の国立台湾文学館で開かれた。同市文化局が成功大学と連携し、約3年をかけた古典文学や現代文学、台湾語の文学、現代の演劇の脚本などさまざまなジャンルの文学を全5冊にまとめた。同シリーズは、同市で来年開かれる台湾最古の城「安平古堡」建設400周年を記念した行事「台南400」に向けて制作された。同局の謝仕淵局長は「台南の文学の発展は数世紀にわたっており、台南は多くの作家の故郷でもある」と

指摘。同シリーズの編さんによって台南の文学が伝承されるだろうと期待を寄せた。



台南の文学史まとめた書籍が発表(写真:台南市政府)

Nov.20 大手回転すし店、台湾らしい創作すし発表

台湾で282店舗を展開する大手回転すし店「争鮮回転寿司」を運営する「すしエクスペリエンス(争鮮餐飲)」はこの日、タピオカとクリームをいらずしにトッピングした「タピオカミルクティーいらずし」など台湾ならではの食材や料理をアレンジした創作すし6種類を発表した。同社は「若者層を引き付けたい」と目論んでいる。カキオムレツの軍艦巻きや青トウガラシの漬けもの「剥皮辣椒」と鶏肉を合わせたすしなどもあり、関係者は20~30%の売り上げ増を目指すと言った。



争鮮回転寿司、新作すしを発表(写真:中央社)

Nov.21 台湾、勝利に届かず W杯アジア予選2連敗

台湾のサッカー代表はこの日、2026年カナダ・メキシコ・アメリカ大会の出場権を巡るアジア予選第2ラウンド第2試合のマレーシア戦を臨み、0-1で2連敗した。キルギス戦に3-2で逆転勝利を挙げたマレーシア。試合の最初からフィールドを支配して台湾に攻撃を仕掛けてきたが、前半には台湾守備陣の活躍やシュートがポストに当たったなど、ゴールに至らなかった。後半に突入すると、FKをチャンスとして捉え、ゴールを決めた。なお台湾メディアによると、今試合の入場者数は延べ1万人を突破したという。キャプテンを務めた陳

柏良選手は「次こそ倍返しだ」とチーム全員を励ました。



W杯アジア予選、台湾が2連敗(写真:中央社)

CHINA BEFORE COMMUNISM

神韻晚會 2024

SHEN YUN

五千文明舞台再現
精彩絕倫請勿錯過

邀你觀賞
來自紐約的世界頂級演出

精湛的技術 令人眼花繚亂的美麗舞台
中國古典舞的巔峰之作 全球巡演屢創票房奇蹟！
2024 全新鉅作 交響樂團現場伴奏！

「輝煌神奇的大戲，一場必看的演出！」
—《百老匯世界》(Broadway World)

「一夜看盡五千年中華傳統音樂與舞蹈」
—《紐約時報》

「精緻美麗的舞臺，神奇非凡的體驗」
—奧斯卡獲獎著名女演員
凱特·布蘭琪 (Cate Blanchett)

「自從1942年至今，我評論了大約4000場秀，沒有一場能與神韻媲美，我給她最高的五顆星！」
—《談話百老匯》著名評論家
Richard Connema

2023/12/22 ~ 2024/2/16 北海道・関東・中部・関西・九州

ShenYun.com/JP 0120-91-8487

台湾の研究成果を世界へ 台湾学術デジタルリソースセンター開設



台湾学術デジタルリソースセンターが開設へ
台湾国家図書館と仏パリの大学間共同利用言語・文化図書館(BULAC)がこのほど、世界初となる「台湾学術デジタルリ

ソースセンター」を開設した。国家図書館の曾淑賢館長とBULACのザゴリア館長が11月13日、協定書に署名するとともに供用を開始した。呉志中駐仏代表と台北駐仏代表処教育組の陸美珍組長が調印に立ち会った。

BULACが所蔵する中国語の資料は、約43,000種以上の書籍(7万冊以上)、900種類のジャーナル、それに1911年以前に出版された古い書籍1,000冊以上を含む。教学や研究にとって非常に重要なもので、フランスではトップレベルの蔵書と言える。今回、台湾の国家図書館と協定を結んだことで、BULACのデジタルリソースのサービスがさらに強化されることになる。

今回は、国家図書館が構築する「中文古籍聯合目錄(古い中国語書籍に関する合同目録)」についても協力することで一致した。同館は2005年以降、世界の著名な大学附属図書館や国立図書館と協力し、蔵書のデジタル化を図っている。これらの成果はすでに国家図書館のデジタルシステムで一般公開されている。

また、国家図書館と協力する図書館は各自が所蔵する古い書籍の目録を、このシステムの下に構築されている「中文古籍聯合目錄」にアップロードすることができる。現在までに92の図書館などがこの合同目録に参加している。

国家図書館はまた、BULACとの協定締結の記念として『註東坡先生詩』と『金剛般若波羅蜜経』のレプリカを贈呈した。同館によると、そのうち『註東坡先生詩』は国宝級の書籍で、800年以上の歴史を持っている。



台湾と日本を繋ぐ タイルの歴史をたどる

とある時代、とあるタイルが一世を風靡したことをご存じでしょうか。台湾で「花磚」と呼ばれる彩色タイルは、日本統治時代に当たる1920年代~40年代から流行り、当時から表面には花鳥、人物、風景など、美しく創意に富むさまざまな絵柄が描かれていた。

その時代の台湾社会は、武装抗日の終焉、民衆の生活水準が高くなった事により徐々に安定しはじめた。時代とともにニーズに合った彩色タイルは、これまで台湾で使われてきた石彫りや木彫りといった従来の装飾品と比べ、コスト削減や壊れにくいという点が評価され、公共建築だけでなく、豪華な屋敷や寺にも使われ始めた。

台湾人にとってタイルで自宅を飾り付けることは、単に見た目の美しさを追求するだけでなく、財力を見せつけることもあった。そのタイルの工法、デザイン、貼り方などから、職人の技量と所有者の好みを読み取れる。

私自身も、彩色タイルへの印象が残っている。幼い頃、両親が仕事に忙しいから、おばあちゃんの家に預けられていた時期がある。もう30年を経たということ、当時の記憶はすでに薄くなってしまった。でも、いつもおばあちゃんに連れて行かれた土地公廟(稻荷神社のようなもの)の外壁に飾られた彩色タイルだけ印象が残っている。あれは「四方連文」という配列方法で並べ

る草花文模様で、明るく鮮やかな赤色が使われる。しかし台湾における彩色タイルの繁栄時代は戦争と政治情勢の変動によって一瞬で止まった。今はわずかに残る古い建物しかタイルが見えず、その数は日に日に減りつつある。

こうした背景に、著者の康銘錫氏は台湾の建築史に輝く1ページを残した彩色タイルの歴史を遡り、大量の写真や詳しい説明を通じて人類史における彩色タイルの由来、そして彩色タイル文化はいつか日本に取り込まれ、さらに台湾まで影響するのを紹介している。

本書は「タイルの文化」「世界の彩色タイル文化」「台湾の彩色タイル」「彩色タイルの規格と製造」「彩色タイルのデザインと配列パターン」の五つのテーマから構成される。各地のタイル文化は、それぞれのルートによって異なる特徴が現れる。例えば一時イスラム王国に統治されていたスペインでは、イスラム文化の幾何図様やキリスト文化の聖書絵などが存在し、独自の風景を持っている。

その中に、日本は明治維新時代に欧米で流行っている彩色タイルを知り、徐々に独自の彩色タイルを作り出すようになったが、日本では彩色タイルはあまり流行っておらず、日本産彩色タイルは台湾をはじめとするアジア各地に輸出するように切り替えた。これが今回の主役となる「和製マジョリカタイル」だ。

本書にある写真を観察すると、台湾や金門島において彩色タイルのデザインが多く、その独自の美しさを台湾人に魅了させる。台湾の伝統文化に興味がある方に欠かせない一冊といえる。

てくてく台湾旅 95

松田義人(deco) / 編集者・ライター

台中の温泉は 谷関よりもっと近い場所にもあった!



1999年、「921大地震」で 発見された台中・大坑温泉

台中エリアの温泉として、すぐ頭に浮かぶのが谷関温泉。日本統治時代に発見された温泉で、かつては明治温泉と言われていました。台湾に数多くある名所のうちの一つでもあります。しかし、台中と言っても市内からは片道約1時間半~2時間の山中にあります。発見しました。それが大坑温泉です。その所用時間はさらに高むためジャックと行って帰ってくる……というのは少々ハードルが高いアクセスが難しい温泉でもあります。

「谷関温泉よりもさらにアクセスしやすい台中の温泉はないだろうか」と調べてみたところ、発見しました。それが大坑温泉です。台中市内から東に入った大坑エリアにあり、所要時間はバスで約40分ほど。さらに、歴史ある谷関温泉と対照的にこのエリアの温泉が発見されたのが1999年の「921大地震」以降とのことで、台中エリアで比較的新しい観光スポットとなっているようです。

この大坑エリアにある温泉施設はどこもきちんとしたホテルが多いのですが、このうち今回は「台中日光温泉会館」というところで日帰りを満喫してみようことにしました。購入したのはまたも台湾発のチケットサイト「KKday」(https://www.kkday.com/ja)。

何故ならプロパーで入浴券を購入するよりも同サイトを利用するほうが安かったからです。



クオリティ高すぎの 「台中日光温泉会館」

「台中日光温泉会館」で選んだのは個室温泉の2時間利用とランチビュッフェがついたコースで1組料金が12976円(2名利用の場合、1人あたり6488円)。なかなかの良いお値段ではありますが、そもそも大坑エリア自体、どの施設も高価なのでここは目をつむりましょう。

しかし、この値段にいきなり納得できたのが、温泉に先んじていただいたビュッフェでの食事。和洋折衷なんでも豊富にある一方、いずれも高級ホテルならではのハイククラスの味わいで、台湾で食べた洋食の中では間違いなく「一番」でした。後述する温泉ももちろん良いのですが、このビュッフェだけをためてみるのも「たまの贅沢」としてはかなり満足できるクオリティでした。

贅沢なビュッフェで舌鼓した後、肝心の個室温泉を満喫しました。モダンな作り部屋の真ん中に、温泉池と岩盤浴がデーンと備わっており、全面ガラス張りの向こうにあるデッキスペースでは日光浴も楽しめる作りで、これがまた豪華。肝心の温泉は、滑らかな質感の炭酸水素ナトリウム泉。癖がない一方で、まろやかな風合いがとて心地良く、食後の満足感と合わせてついウトウトしてしまっていました。

今回は個室でのひとときの温泉時間ではありませんが、これだけの満足度なら台中エリアを訪れた際、「休養」を兼ねて1泊するのも十分アリだと思います。また、大坑エリアから少し足を伸ばせば、毎年秋から冬にかけて開催される台中の恒例イベント「新社花梅」(日本で言う花博のようなイベント)のエリアにもアクセスできるので、時期を揃えて行くのも良いなと思いました。ただし、これは想像ですが、「新社花梅」の時期は客が混雑するにも思うので、早めの計画が良いようにも思います。

なかなか良かった大坑温泉および「台中日光温泉会館」。台中滞在中、ぜひとも訪れたい場所がまた一つ増えてしまいました。



著者：康銘錫
訳者：大洞敦史
発行：株式会社トゥーヴァージンズ
体裁：A5版 214頁
定価：本体2200円+税

台湾新聞319号 読者プレゼント
応募券

読者プレゼント企画 台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「台湾 和製マジョリカタイルの記憶」をプレゼント致します! 応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(12月中に発送予定)。締切り: 12月15日(消印有効)
株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

關於公寓價值評估規則的修改

這次，我們將簡單易懂地介紹將於2024年1月起實施的公寓價值評估修改規則。首先從結論來說，這次修改將增加您擁有的公寓的評估價值，這可能會導致您的稅負增加。根據現行規則，市場價值評估是公寓轉讓(贈與、繼承等)時估價的標準。如果聘請專家來計算市場價值，則需要花費數十萬日圓。因此，以不是極低的價格為前提，以時価の7-8成來進行估價的繼承稅

的方式是公寓價值評估最普遍的。然而，近年來，隨著高層公寓數量的增加，「市場銷售價格(市場價值)」與「遺產稅評估價值」之間的差異變得更大，並且有許多公寓的價值在時価の3-4成。因此，為了確保稅收公平，從2024年1月起，公寓評估將不低於市場價值的60%。例如，如果一套公寓的市場價值為1億日圓，當前遺產稅評估價值為3000萬日圓(市場價值的30%)，則從2024年起評估價值將為6000萬日圓，即市場價值的60%，換句話說，估

日本法律停・看・聽

値較現值有可能翻倍。雖然這次是大致的說明，但條件本來就複雜，基本上沒有兩棟建築或土地是相同的，所以需要根據物件來評估。本文僅供參考。
本文作者：黑澤事務所 黑澤



相續・贈与・登記・國際稅務
黒澤合同事務所グループ
1972年創業

【司法書士】 不動産登記、会社登記	【土地家屋調査士】 房屋新建・拆除、 土地分割・合併、 測量全般	【公認会計士】 事業計画・股價估算、 向外資企業提供各項、 服務的國際業務
----------------------	---	--

人員招聘(台灣人歡迎) 詳情見下文

東京都中野区中野4-4-11
会長 黒澤 功記
社長 黒澤 功栄

kurosawa@kurosawa.gr.jp
https://www.kurosawa.gr.jp
大代表: 03-3388-9638
中文服務專線: 03-3388-2520 (程)

無量壽佛 2023年【癸卯年】

歡迎安奉太歲燈・光明燈

每月農曆初一、十五日犒軍敬拜(上午11:00)

本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35號對面

宗教法人 日本大道院純陽宮

〒289-0216 千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089
董事長 玄駿 執行董事長 玄胡明信



台日交流高峰會 in 仙台 強調助台加入國際組織



【台北／採訪報導】第九屆台日交流高峰論壇於11月18日在仙台登場，此次共有約400位台日相關人士出席，而會中所發表的「仙台宣言」也強調，聯合國第2758號決議並未將台灣排除在國際社會的認知，日本應盡可能幫助台灣加入國際組織，同時會中也邀請到南三陸町分享災後的復興及對台灣的感謝，第十屆台日交流高峰會則將在台南舉行。

這次日本方出席包括宮城縣知事村井嘉浩、仙台市長郡和子、前防衛大臣、眾議員小野寺五典、全國日台友好議員協會會長藤田和

台南市議會邀請大家參加明年台日交流高峰會秀、仙台市議會議長橋本啟一，以及日本全國各地地方議員和友台人士，台灣方則有駐日代表謝長廷、台南市議會議長邱莉莉、日本台灣商會聯合總會會長錢妙玲、日本中華聯合總會會長羅鴻健、日本華商總會會長朱恭亮等各地僑領、僑胞出席，此外因明年交流高峰會將在台南舉行，台南市議會副議長林志展、議員施余興旺、林依婷、蔡筱薇等15位議員也專程來參加，副總統賴清德、日華議員懇談會會長古屋圭司也特別錄製影片祝賀台日交流高峰會的成功。



台日交流高峰會 in 仙台登場「仙台宣言」中提到，日本和台灣之間有著深厚的信任和友誼，在克服彼此困難的過程中建立了不可分割的關係。包括東日本大地震中，來自台灣的莫大支持和溫暖人心的鼓勵，大大地加快了災後復興的進程，這一事實深深銘刻在不只是受災民眾的心中，也深植在每一位日本人民的心中，另外在新冠病毒災難中的相互支援，也體現了日台兩地共同面對困難的堅強意志。

另外宣言也提到，由於俄羅斯持續入侵烏克蘭導致國際局勢發生變化，日本和台灣需要共同克服各種挑戰，如能源和其他價格飆升、穩定糧食的供應、地區的和平與安全等，日本和台灣絕不能屈服任何外部壓力、暴力或對我們主權的侵犯，日本和台灣必須攜起手來，將任何一方的危機視為自身的危機。

宣言也說，正如已故前首相安倍晉三與蔡英

文總統之間的「紐帶與合作」，最大程度地加深了兩國人民之間的友誼一樣，日本與台灣人民共同的價值觀是尊重和平、尊重法治、自由、民主主義和人權，並通過交流和增加在國際社會中的存在來進一步深化和發展兩國關係、將帶來日本和台灣雙方的國家利益，並有助於改善人類福祉和世界和平。

其中宣言也特別強調，聯合國大會第2758號決議並未將台灣排除在國際社會的認知，日本應利用一切可能的渠道，盡快做出進一步努力，讓台灣早日加入WHO、CPTPP、ICAO等國際組織，以及日台雙方應加強不同領域的交流與合作，同時為了台日外交和安全關係和平穩定，從國家保護進行高層對話，需盡速制定「台日關係基本法」，最後在未來發生災害時，日本和台灣應互相合作，克服危機，確保兩國人民安全也達到為國際社會做出貢獻。

仙台市議會日台友好議員聯盟會長暨大會會長西澤啟文表示，仙台和宮城縣在東日本大地震受到很大傷害，但收到台灣和日本全國各地支援，讓我們可以恢復到之前，再次至上的感謝。希望能以這次高峰會為契機，強化台灣和日本友好關係。此外這次宴會中的食材全使用宮城縣產，特別是宮城水產，因為漁會在福島排放處理水後受到不良謠言，為了支持他們才向各個漁會購買食材。

駐日代表謝長廷受訪時也表示，仙台宣言是配合最近議題，認為聯合國2758號決議並沒有

禁止台灣加入相關國際組織，所以禁止台灣加入國際組織是錯的，這點非常重要。而第十屆將在台南舉行，台南市議員們也配合出席，讓大會非常成功。

台日交流高峰會也邀請到宮城縣南三陸町町長佐藤仁以「多謝台灣！將對台灣的感激與羈絆傳遞給下一代」為題進行演講，說明了南三陸町在東日本大地震中所受到的影響和災情，以及災後的重建復興狀況，當中也有不少是受到台灣的援助等，在播放相關紀錄片時，也感動不少現場來賓，最後佐藤町長也報告目前南三陸町的復興已經到一個段落，現在則要向每個幫助南三陸町的人致謝，因此也到台灣拜訪中華民國紅十字會和慈濟等。

台南市議會議長邱莉莉表示，雖然目前台南市議會還在開定期大會審查明年預算，但仍與副議長一起帶領15位議員、10位議員同仁出席，台南市議會明年將承辦第十屆交流高峰會，我們也非常重視這項台日交流的重要活動，同時也希望將台灣的美好介紹出來，明年除了交流高峰會外，台南也將舉辦國際蘭展、台灣燈會、台南建城400週年等活動，希望大家一定要來參加，體會台南的熱情。

高峰會結束以後，也舉辦歡迎交流會，池田副知事、郡市長、小野寺眾議員、藤田會長等貴賓也上台為這次活動祝賀，會中還安排了當地特色伊達武將隊、雀舞等演出來炒熱氣氛，同時交流也相當熱絡，活動也順利圓滿落幕。

台日經貿交流史上最高規格 2023日本台灣形象展登場



【東京／採訪報導】由外貿協會主辦「2023日本台灣形象展」於11月9日在新宿住友大樓三角廣場登場，經濟部長王美花、外貿協會董事長黃志芳也親臨現場參加開幕儀式，這次更是號稱台日經貿交流有史以來最高規格，集結135家優質的臺灣企業的產品，讓日本看到台灣產業硬實力，也能體驗台灣的文化。

這次「2023日本台灣形象展」的開幕式也有不少各界貴賓出席，包括日華議員懇談會會長古屋圭司、日本台灣交流協會理事長谷崎泰明、日本貿易振興機構(JETRO)理事高

島大浩、眾議員金子恭之、早稻田夕季等，以及駐日代表謝長廷、國際貿易署署長江文若、國立故宮博物院副院長黃永泰、中華文化總會副秘書長喻小敏、SEMI國際半導體產業協會總裁曹世倫、日本台灣商會聯合總會會長錢妙玲、亞洲台灣商會聯合總會會長陳五福等人都出席共襄盛舉。

開幕儀式上首先由知名表演團體愛樂劇工廠快閃歌舞及中華職棒經典女孩的勁歌熱舞表演拉開序幕，配合播放精心製作的台日友好共榮合作開幕影片為背景搭配，接著由經典女孩林襄擔任投手，配合黃志芳揮棒擊出



王美花部長致詞全壘打，將現場氣氛炒熱到最高。

黃志芳董事長致詞時表示，棒球是激勵人心的運動，跨越文化、語言、國界，將人們緊密的聚集在一起，棒球是台灣日本兩國人民共同愛好，日台交流協會去年做了一項台灣民意調查，發現台灣人最喜愛的外國第一名就是日本，同時台北駐日經濟文化代表處也在去年做了日本國民對台灣的看法調查，結果親近感高達75.9%，像這樣互相有好感的鄰國，在世界上非常難得、珍貴。

黃志芳也說，不只是我們兩國有共同自由民主的價值，和對傳統文化的重視，多年來面對天災地變、疫情的挑戰時，我們像一家人一樣，相互扶持共渡難關，在經貿上台日也密切合作夥伴近年來台灣在半導體、和資通訊科技的進步，也讓台日兩國在未來在來人工作智慧的時代成為最好的夥伴，台積電、力積電先後在日本設廠，將為兩國產業合作開啟新的里程碑。



黃志芳董事長致詞

經濟部部長王美花表示，台日產業合作關係超過半個世紀，早期為日商在台成立分公司，由日本提供資本、設備及技術，再由台灣協助代工與出口，例如紡織、食品、家電及汽車零組件等。隨著台灣產業轉型發展高科技事業，鼓勵業者投資研發，發展出如資通訊、半導體等優勢產業，與日本產業成為策略合作夥伴。台日在半導體產業互補合作的基礎上，進階發展5G、AIoT創新應用、汽車電子等關聯產業，共同發展數位轉型合作商機，打造具備安全可靠信賴的供應鏈體系。

駐日代表謝長廷說，這次形象展是一個展示台灣多樣性和創造力的絕佳機會，台灣在科技、文化、藝術和其他領域的成就在此作了完整的呈現，同時也表達對日本及全球合作夥伴的重視。日華議員懇談會會長古屋圭司提及其所屬的日華議員懇談會目前成員在日本已經有多達300名議員加入，在台灣也有100多名議員加入，雙方密切的進行多項

合作。在危急的時刻互相提攜協助，才是真正的友誼，台灣與日本之間正是這樣的關係。目前在日本和台灣都面臨少子高齡化的問題，透過本次展現的各項AI、機器人、IoT、數位化技術，相信一定可以將諸多社會議題迎刃而解。

黃志芳也提到，除了戰爭瘟疫通貨膨脹外，人類面臨最嚴重的挑戰，無異就是地球暖化，人類的生存正面臨前所未有的威脅，因此世界各國也都積極地在尋求解決方案，台灣宣布了2050淨零碳排的國家目標，日本政府也規畫了「Society 5.0」、「2050日本綠色成長戰略」等政策來應對，這一次台灣形象展覽主軸就是應對這個挑戰，我們展現台灣企業如何透過DX(數位轉型，Digital Transformation)及GX(綠色轉型，Green Transformation)的技術，來帶給世界一個智慧永續的生活願景。

這次的展覽中，可以在元宇宙中，體驗人類未來虛實混和的生活，同時貿協也帶來台北故宮數位文物館，讓日本民眾不用到台灣，也能在數位世界裡體驗故宮千年文物，蘭花館則將客人帶回到與恐龍同時存在的白堊紀時代，來欣賞台灣蘭花之美，還運用科技進入台灣最傳統的宮廟膜拜，最後經過台灣特色伴手禮跟美食區，讓客人好像穿越時空，來到台灣這個美麗的寶島。

東京近郊新選擇！ 來土浦享受霞浦與自行車之旅吧



筑波霞浦 RINRIN 自行車道

土浦是茨城縣重要的城市之一，雖然對於台灣人來說較為陌生，但自行車愛好者肯定不陌生，因為土浦有著全長180公里的筑波霞浦RINRIN自行車道，每年都能吸引不少人前來挑戰，今天就帶大家一同來探索這條自行車道和土浦的其他特色吧！

筑波霞浦RINRIN自行車道

筑波霞浦RINRIN自行車道是由筑波山的舊筑波鐵道的廢線和環繞霞浦道路結合而成，全程約180公里，更與環琵琶湖和瀨戶內海的自行車道一同，獲得第一波日本國家自行車道路的指定，且不論是老手或是初心者，都有適合的路線可以挑戰，大家可以評估自己的體力來決定挑戰路線，且沿途不論是筑波山的自然景色，或是霞浦的遼闊風景，都能讓人暫時忘卻世界的喧囂，沉浸在自行車之旅中。



騎自行車享受霞浦之美



Ring-ring square 土浦

Ring-ring square土浦 如果沒有自行車但想體驗的朋友也沒關係，在土浦車站一樓有間Ring-ring square土浦，提供自行車的租借，包括安全帽等防護裝備，車種相當齊全，不論是公路車、一般自行車，就連電動自行車也有，不用擔心自己的體力輕鬆享受這趟單車之旅，在自行車道上有11個據點可以供大家隨時租借還車，另外在Ring-ring square土浦還設有淋浴間、更衣室和投幣式置物箱可以使用，同時他們也規劃許多特色自行車行程，如果時間搭得上，對日文有自信的朋友不妨體驗一下深度之旅。

星野渡假村 BEB5土浦

如果是帶著愛車一起來旅遊的朋友也別擔心，同樣與土浦車站的共構飯店「星野渡假村 BEB5土浦」是好選擇之一，是星野集團旗下



星野渡假村 BEB5 土浦



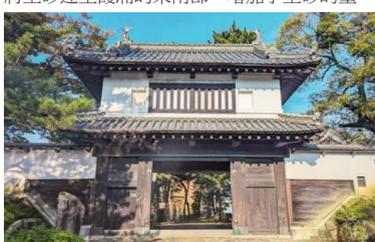
霞浦夕陽

的旅宿品牌之一，主打提供給自行車愛好者們方便停車、收納的空間，更是能將自行車掛在牆上欣賞，飯店內還有自行車的修理空間，以及許多與自行車相關的書籍等，快帶著你的愛車一起來旅行吧！

介紹了那麼多自行車的相關資訊，接下來就為大家介紹土浦的觀光景點和值得體驗的活動吧，話不多說讓我們繼續往下看！

霞浦

講到土浦，就不能不提全日本第二大的淡水湖—霞浦，總面積達220平方公里，是由數個湖所組成，約20萬年前，關東地區被稱為「古東京灣」，是一片海洋。後來因為海平面下降，古東京灣消失，再加上河川的沖積，讓霞浦附近形成深谷的地形，約6,000年前，從銚子方向開始，海水深入內陸形成了內灣，而霞浦就是這個內灣的一部分。霞浦的現在的形態大致形成於江戶時代中期，由於河流帶來的泥沙等物質，逐漸阻隔了海洋和內陸之間的區域，再加上當時進行了「利根川東遷事業」，將土砂運至霞浦的東南部，增加了土砂的量。



土浦城遺留的櫓門

到了17世紀中期，由於海水與霞ヶ浦之間的聯繫變差，霞浦開始淡水化。

如果來到霞浦，除了騎自行車外，也能搭乘觀光遊覽船享受霞浦的風景，不論是晴空萬里或夕陽美景，都能讓人感受到心曠神怡，另外在霞浦上還有觀光帆船，是明治時代的捕魚船，專門捕捉西太公魚等，直到昭和時代後逐漸消失，但現在重新作為觀光帆船登場，使用橫向的船身和充滿大帆之間微妙的平衡，穩穩地矗立在湖上，不禁會讓人嘆為觀止。

土浦全國花火競技大會

提到土浦當然就要介紹日本三大花火大會之一「土浦全國花火競技大會」，從1925年就開始舉辦至今，與其他花火大會不同的是土浦全國花火競技大會又被稱為「全日本最佳星形煙火」的比賽，也可以視為土浦花火的歷史一部分，星形煙火指的是連射連發，星形煙火在其他地方被視為配套，但在土浦則獨立出來，專家們花費大量時間、精力，將數百發的煙火在巧妙的時機下升起，讓色彩繽紛的煙火點綴的夜空，其景象令人嘆為觀止。

龜城公園與城下町

土浦在過去是通往水戶其中之一的宿場之一，室町時代就建設了土浦城，與一旁的護城一同來看的話，就像浮在水面上的龜殼，因此土浦城又被稱為龜城，後來明治維新以後，政府推行廢藩制縣，土浦城被廢止，本丸御殿被當作縣廳使用，只可惜後來遭遇火災，只留下



蕎麥麵製作體驗

櫓門等供民眾觀賞，現在則規劃成龜城公園，作為賞櫻和日常休閒的公園使用。

緊鄰龜城公園的土浦城下町也是見證著土浦的歷史，該街道就是舊的水戶街道，且除了陸運，土浦也是水運的要地之一，所以當時街上可以說是商家林立，是當時陸運中僅次於水戶的第二大城，順帶一提以前的土浦的醬油釀造業非常興盛，與野田、銚子被稱為關東三大醬油釀造地，另外如果仔細尋找，還能找到紀念齊柏林飛船造訪土浦的小紀念館。

小町之館蕎麥麵體驗

小町之館是推廣「小野小町的傳說」而建造，小野是日本平安時代早期著名的女和歌歌人，過世後在各地都有傳出小野小町的墳墓，土浦就是其中之一，進到館內可以看到許多關於小町傳說和作品等，而館內也設有體驗工房，有著一群蕎麥麵愛好協會的爺爺奶奶們會教導大家製作蕎麥麵，從最基本的揉麵到切麵條，最後還會現做好的蕎麥麵煮熟讓大家可以在現場品嚐。

鈴木農園採蓮藕體驗

土浦也是日本蓮藕最大產地，如果沿著霞浦湖騎自行車，在七月下旬至八月上旬可以看到滿滿的蓮花盛開，而花開後的蓮藕更讓人期待，土浦產的蓮藕肉厚、纖維細膩，相當鮮甜，就算只用煎的再撒上點鹽巴就相當美味，如果想體驗採蓮藕的話，也可以預約附近的鈴木農園，親自下田享受採蓮藕的樂趣！



採蓮藕體驗



千葉台商會推動台日小學跨國交流 增進台日教育友好互動



合影留念

【千葉／綜合報導】桃園市復興區震雲國小與千葉縣銚子市立飯沼小學在日本千葉台商會協助下於11月8日進行跨國文化交流活動，增進台日教育友好互動，銚子市長川越信一、銚子市役所職員、千葉縣廳職員等三十餘名人士出席，共襄盛舉。

活動一開始，震雲國小師生以原住民優美的歌唱和舞蹈表演，展現臺灣原住民文化的魅力，飯沼小學學生也以活潑的舞蹈展現歡迎之意，拉近了兩地學子之間的距離。隨後，震雲

國小師生體驗日本小學的營養午餐和參與課堂學習，以及一同體驗銚子市的傳統太鼓，讓雙邊學生在遊戲中了解彼此文化特色。

日本千葉台商會會長鍾幸昌首先以中文說明銚子位於日本本州的最東邊，是本州最早看見日出的地方，也是看見希望的所在地，希望學生們永遠朝自己的願望向前邁進，最後以日文向日方致謝。

震雲國小校長羅幼蓮表示，很高興有機會讓學生在小時候增加文化交流，養成國際觀。也



鍾幸昌會長致詞

非常高興在千葉商會的促進之下，能有這樣充實的體驗。飯沼小學校長網中昭仁以中文打招呼表示熱烈歡迎，全場氣氛非常地歡樂活潑。

銚子市市長越川信一強調，銚子市是日本能捕獲最多種類漁獲的地方，也是日本最早能看見日出的熱門景點。跟桃園一樣，有好山好水，在這樣豐厚的大自然環境下成長的小朋友們能夠有機會交流，相信是會畢生難忘的聚會。

日本千葉台商會長期協助銚子市跟桃園市進行各項政府及民間交流，協助雙方締結友好城市協定，深耕銚子市與臺灣關係，本次在副會長王育琦推動策畫下，臺灣桃園縣復興區震雲國小與日本千葉縣銚子市飯沼小學得以成功進行跨國文化交流活動，讓雙邊關係更加緊密。

第34屆中日工程技術研討會將睽違四年登場 日方訪團壯行會盼收穫滿滿



壯行會紀念合影

【東京／採訪報導】第34屆中日工程技術研討會睽違四年將於11月19日至23日登場，今年將以「邁向淨零、共創永續」為主題，日方訪團由台灣科學技術協會協助組團赴台，日方訪團於11月10日舉行壯行會，說明此次赴台的行程和注意事項等，駐日代表謝長廷也特別到場為大家加油打氣。

中日工程技術研討會是由台灣的產官學界邀請日本產學各界的專家赴台進行技術交流，至今已舉辦33屆，原定34屆於2020年舉辦，但後來遇到新冠疫情而延期，今年有17個產官學界機關、組織邀請50位專家赴台，同時也預定舉行台日雙方的演講，台灣將由經濟部長王美花說寧能源轉型、永續未來，同時訪團也預定前往拜訪副總統賴清德、中油公司等。

在壯行會上，駐日代表謝長廷表示，台灣和日本雖然沒有正式國交，但有長久的羈絆關係，其中特別是民間，不論在各種類型的交流都非常緊密，像是經濟、文化等，近年來雙方也一同攜手面對各種挑戰、越過困難，期待這次的研討會大家會有好的收穫，並促進台日的科技交流等。

台科會理事長黃野銀表示，中日工程技術研討會舉辦最大的理念就是每年交流持續



台科會理事長黃野銀致詞

不斷，滴水成川，才能有豐富的成果，也像謝大使所說，我們正式邦交很難，但是水面下有那麼多交流，不論是新幹線、台積電等，都是屬於民間力量，所以如果中日工程技術研討會能繼續持續下去的話，對台日雙方來講都是雙贏的局面。

此次日方訪團團長由日本能源學會前會長齋藤公兒擔任，副團長分別是東北大學教授長坂徹也、前國土交通省水管理、國土保全局局長塚原浩一擔任，成員擅長領域也相當廣泛，包括能源、科技，到金屬、半導體、建築、鐵道和港務工程等，除了說明此次訪團的行程和注意事項外，也安排了交流餐會讓訪團成員互相交流、認識，對於這次訪台許多人都相當期待，也盼能有滿滿的收穫。

橫濱靜岡急難救助協會舉辦防災講座 增強防災意識



活動合影

【橫濱／綜合報導】橫濱、靜岡僑界急難救助協會於11月5日海嘯防災日舉辦防災講座，強化理監事防災意識。橫濱市中區區長小林英二、駐橫濱辦事處處長張淑玲及駐日本代表處僑務組副組長宋惠芸應邀出席。

本次防災講座由橫濱市中區總務課危機管理、地域防災組長太田成紀擔任，從日本三大地震引起的災害、地震發生時應如何應對、地震發生後的家人聯繫及如何恢復正常生活，等發表演說，淺顯易懂的說明讓參加



洪益芬會長致詞

人員了解遇到地震時該如何面對及如何準備防災用品，收穫良多。

橫濱市中區區長小林英二致詞提到，很感謝洪益芬會長舉辦這場活動，增強大家防災意識，沒有地震的時候不會感覺到防災的重要性，一旦地震發生，很多突發狀況都會出現，所以平時就要有防災意識及防災品的準備，今天活動真的非常有意義，期盼日後也能舉辦類似活動。講座後進行該協會第三屆第二次理監事會議，報告會務推動情形及未



講座一景

來活動規劃。

洪益芬會長致詞表示，橫濱靜岡是旅遊勝地，觀光客非常多，問題也非常多，但是辦事處都在第一時間將事情處理好，減輕我們很多負擔，在此非常感謝張淑玲處長，未來會配合辦事處辦理相關事宜。

張淑玲處長致詞提到，急難救助工作是須要官方及民間一起合作，台灣人在日本的如發生問題，駐外館處儘量在第一時間處理相關事情，但是當事人或是當事人家屬的情緒安撫及翻譯，還是需要當位的幫忙及協助，希望橫濱靜岡僑界急難救助協會可以建立用中文溝通的醫院資訊，以便提供給需要的國人參考。隨後進行餐會交流，出席人員就防災及救災等進行意見交流。

大人的 One Day School 大小朋友一同學習新知識



紀念合影

【東京／採訪報導】一般社團法人One Day School於11月19日舉辦大人的One Day School活動，讓大人、小孩可以透過各式各樣的課程，學習到新的知識，同時也希望藉由活動讓大家充滿笑容，讓世界更加和平，駐日代表謝長廷、安倍昭惠夫人也出席共襄盛舉。

課程內容包含搭配日本的古民謠的舞蹈、提升時尚講座、用手機就能拍出網紅級的技巧、品嚐台灣東頂烏龍茶、和服講座體驗、日本傳統器具鉋(刨刀)體驗，以及製作製作項鍊飾品，內容非常豐富。

One Day School代表理事渡邊明日香表示，今天很感謝大家，多虧參加者、工作人員等，讓活動順利舉行，為了讓大家今天可以讓笑容如太陽一樣燦爛，渡過美好的一天，事前做了很多努力，請大家盡情享受吧。

安倍昭惠夫人表示，與渡邊代表理事已經認識好幾年，One Day School 致力於在為這個世界帶來和平，我也非常同意這點，雖然我能幫助的不多，但覺得可以盡一些力，所以一直在身邊支持她，不僅小朋友，大人也可以學習、加深互動的話，可以讓世界更加和平，也希望大家繼續給予支持，未來請繼續加油。

課程結束後，One Day School也舉辦懇親



One Day School 代表理事渡邊明日香致詞

會，駐日代表謝長廷也特別出席，他表示，聽渡邊代表理事介紹，原本這個活動是以讓小朋友充滿笑容玩樂、品嚐為主題，並同時學習世界上不同文化，但很多大人也想參加，才有今天的活動，大家還有很多不知道的東西，換句話說就是學習的道路沒有終點，對於大人也是，能繼續學習的事是件很好的事，希望透過這個活動，大家學習更多世界文化、互相尊重，一起讓世界更加和平。

這次的活動有大人參加者分享，這真的是很棒的活動，像是學會如何拍照，以及使用手機的方法，之前都不知道有那麼多用法，以及知道烏龍茶的功效，還有和服的知識等。也有小朋友參加者分享，今天的活動真的很開心，像是可以體驗穿和服、升級時尚講座、製作項鍊飾品等都很開心，下次還想再來參加。

東京僑校與臺灣原住民小學進行國際教育 促進臺日學子跨國交流



紀念合影

【東京／綜合報導】東京中華學校與臺灣桃園市復興區震雲國小於11月9日上午8時30分在東京中華學校進行國際教育活動，增進兩地學子跨國文化交流，東京中華學校校長會長林芳美、成城學校副校長吉川謙及駐日代表處僑務組副組長宋惠芸應邀出席。

臺灣桃園市復興區震雲國小校長羅幼蓮借教務主任賴鈺銜等4位老師及該校4至6年級共15位學生到東京中華學校表演泰雅族傳統歌曲及舞蹈表演，東京中華學校也召集小學部學生觀賞，與震雲國小學生進行跨國文化交流。

東京中華學校校長王東生致詞表示，受新冠肺炎疫情影響該校已經4年沒有跟海外學校交流，非常高興可以與臺灣震雲國小師生進行國際交流，讓我們學生有接觸臺灣學生及臺灣原住民文化的機會。

震雲國小校長羅幼蓮致詞提到，為了今天活動，我們學生非常認真練習泰雅族傳統歌謠跟舞蹈，希望帶給大家精彩的表演，期盼未來與東京中華學校有更多的交流。成城學校副校長吉川謙則表示，該校10年前就與臺灣學校交流，最近與新竹學校簽訂姊妹校，希望能與跟



東京中華學校王東生校長致詞



雙邊學子於課間交流

臺灣學校及東京中華學校多交流。

活動首先由東京中華學校演奏迎賓曲，隨後由震雲國小學生表演泰雅族代表歌曲及竹筒舞，最後表演融合傳統及現代的舞蹈，精彩的表演引發東京中華學校學生的共鳴，雙方學生隨著音樂共舞，場面充滿歡樂。表演活動結束後，東京中華學校則安排震雲國小學生依就讀年級跟班上課，感受海外僑校學生上課情形，下課時雙邊學生們把握時間交流，了解彼此文化特色。活動結束時，學生們都依依不捨，期盼下次能再見面。

日台商務促進會總會 各界出席踴躍交流氣氛熱絡



紀念合影



今角友美會長致詞

【東京／採訪報導】日台商務促進會於11月3日在新宿京王廣場舉行總會，吸引不少僑領僑胞、日本各界人士參與，駐日代表謝長廷、僑務組副組長宋惠芸也出席共襄盛舉，同時也因為疫情結束，日台商務促進會特別邀請不少台灣業者赴日

參加，加深台日商務交流。

會長今角友美表示，在李登輝前總統、蔡英文總統的教誨，以及許多前輩和僑界先進的支持下，7年前成立了日台商務促進會，來幫助日本和台灣促進政治和經濟的交流，日台商務促進會不是只有單純的吃飯聊天，也會舉辦許多活動，繼續為台灣奮鬥，推動台灣和日本的商務交流。

駐日代表謝長廷表示，台日雖然沒有邦交關係，但日本是台灣第三大貿易夥伴，台灣也是日本第四大貿易夥伴，去年雙方貿易總額達882億美元，且除了經濟方面外，台日也是共享自由、民主、人權等相同價值觀國家，並在危難時互相協助，是全世界的典範，希望將來雙方交流可以延伸到安全保障層次，一同守護亞洲自由和平，也感謝大家的協助，讓台日友好可以持續傳承。

參議院片山泉月表示，今年因為半導體的交流前往台灣參訪，並見到賴清德副總統和許多位重要人物，也很高興透過這次會談，決定在宮崎縣會有半導體投資，如果未來未來有很好的方案，日本政府也很樂意補助，讓大家一起前進，也很感謝有台積電的投資，讓台灣和日本的經貿交流越來越熱絡，同時也活化熊本的發展，是很好的現象。

隨後由還有日方企業代表和台灣企業代表上台致詞，副會長益本正藏進行活動報告，以及台日企業帶來商務交流資訊等，接著由參議員石井苗子帶領大家乾杯，宣告活動正式開始，用餐中大家也都互相交流，再加上多首台日歌曲，讓場面非常熱鬧，此外也特別準備了華航機票，透過猜拳大會抽取，讓場面顯得更加熱鬧。

日本關西台商協會台商盃高爾夫球賽 以球會友促進感情



【大阪／綜合報導】日本關西台商協會於10月27日在天野山高爾夫球場舉辦台商盃高爾夫球賽，共有四組商人馬報名參加，並於賽後在中華料理大東洋餐廳舉辦餐會暨頒獎儀式，球賽由楊立寧會長獲得冠軍，許多未參加球賽的理事也特別出席餐會同樂，現場氣氛融洽。大家一起透過球敘增進個人身心健康與強化台商彼此間的情誼與團隊精神，後續由日本台灣商會聯合總會監事長洪麗華帶領大家乾杯。

日本關西台商協會台商盃高爾夫球賽紀念合影。此次活動執行委員長同時也是關西台商協會副會長上島彩表示，希望透過球敘聯誼，參與會員人人有獎，盡興而歸。頒獎時因為每個獎項都是現金獎，讓會場氣氛更加熱鬧，楊立寧原本擔任頒獎人，因為獲得第一名也會形成自己頒給自己有趣的畫面，因此改由日總監事長洪麗華代為頒獎。餐會間也由創會會長林清治為大家說明高爾夫球台商盃的由來，並說明從第一屆開始幾乎



日總洪麗華監事長頒獎給第一名楊立寧會長



林清治創會會長說明台商盃高爾夫球賽的由來



楊立寧會長(左)頒獎女子組第一上島彩副會長(右)由上島彩提供參加獎，今年仍再度提供四國有名的烏龍麵作為參加獎，因此，會中決定未來再舉辦球敘將改由比賽獲得第一名者擔任下一屆球敘的執行委員長，三小時的餐敘在歡樂的氣氛中畫下了圓滿的句點。

北陸台商聯誼會赴老人俱樂部演出 陪伴老人促進台日交流



紀念合影



島田會長協助鋼琴伴奏

【富山／綜合報導】北陸台商聯誼會於11月15日前往位於富山限高岡市秋葉町的イキイキ老人俱樂部，表演台灣歌舞、伴奏、合唱等，與當地的老人互動交流，希望他們在了解台灣文化、促進台日交流的同時，也能給予老人們陪伴。

北陸台商聯誼會擁有自己的歌舞團體，每年都會到老人俱樂部或是當地祭典中演出，其中北陸台商會員山田英子精通台灣民族舞、日本舞蹈，在日、台交流的舞台上，極發揮台灣之光，是北陸台商會員之寶。

島田惠會長表示，這次的到秋葉町的イキイキ

老人俱樂部演出，還搭配島田惠會長鋼琴的伴奏，會員陳寶玲也帶領所有爺爺奶奶合唱精選老歌，每一首老歌都有時代背景，喚起年輕時代各階段的回憶，充滿著昔日的感情追憶。

島田惠會長也說，多年來到老人俱樂部舉行台灣歌舞交流慰問，場面感人，日本邁入高齡化社會，希望我們的交流能帶給日本的老人一絲的溫暖，今後的這樣活動會越來越多。此外我們生活在日本的土地上，受到許多日本人的照顧很多，但我們能力有限，只能盡力用這樣的方式來回報日本社會，今後也會繼續努力。

東北六縣華僑總會親睦會 睽違四年再度舉辦



【仙台／綜合報導】東北六縣華僑總會親睦會於11月17日舉行，這次是睽違4年再度舉辦，過去每年都會固定舉辦，但後因為受疫情影響，才延期配合在仙台的第九屆台日交流高峰會一同舉行，主要是針對華僑較少的東北六縣舉辦，駐日代表謝長廷、日本中華聯合總會總會長羅鴻鵬等僑領也專程出席交流。

駐日代表謝長廷在會中提到，同一個地區的華僑團體聚集在一起，舉辦親睦會交流是非常罕見的，也希望藉此強化東北六縣僑團的團結力，同時也很高興加深大家之間的羈絆。這次出席的貴賓還包括大阪中華總會郭重信會長、橫濱華僑總會會長許耀庚、東京華僑總會副會長富田家彰、日本中華聯合總會青年部



活動紀念合影。部長新垣昌人、全國日台國際交流大會西澤啟文會長、仙台市議會議長橋本啟文、台南市台日文化友好交流基金會董事長李退之、台南市台日文化友好交流基金會榮譽董事長郭貞慧，以及各地區的僑胞都專程出席交流，對東北地區的華僑極具意義和加深彼此間的親睦關係。

這次是難得各地區僑胞僑領齊聚一堂，更選在東北地區，席間大家彼此舉杯敬酒，互相交流近況，得知每一位僑胞的生活狀況都非常不錯後，大家也非常開心。宴會中大家也把握機會彼此合影留念，讓整場活動在溫馨、快樂的氣氛下，畫下完美的句點。

玉山法律相談所

法律相談的「時機」與「對象」

「玉山法律相談所」專欄從2020年1月起已歷時四年，本文為本專欄的最後一文。筆者借此最後的執筆機會向讀者介紹法律相談的正確「時機」與「對象」。

法律問題的類型

法律問題，一般來說分為「爭訟法務」與「預防法務」的兩大類型。爭訟法務是「事後型」，而預防法務是「事前型」。律師通常建議客戶應儘量事前控管好法律風險，因此極力希望客戶做好預防法務的工作。不過世事多變化，而且導入預防法務的程序常有其時間、費用與共識上的問題，因此中小企業仍存在多數的事後爭訟法務。

爭訟法務應儘早與律師相談

遇上法律紛爭的時候(當不得不面對爭訟法務問題時)，應儘早與律師相談。筆者常發現的潛在問題是，許多公司老闆會希望引起紛爭的員工自行處理，而且老闆不另給員工資源，也不給員工任何意見與指導。或許這些老闆有其教育上的用心，不過從法律的觀點來看，這種經營邏輯是不正確的。基本上，員工為公司做事時候屬於公司的「補助機關」。補助機關就如公司的手、腳一樣，為公司實體的一部分。手、腳不起的問題，不為這隻手或這隻腳的獨自問題，而為這整間公司的問題。因此，不論引發問題是誰，處理該問題的時候都應該以公司的資源、依公司決定的方針來處理。

另一個常見問題是，找行政書士等不該相談紛爭法務問題的人士來處理。筆者實際遇過的問題個案之中，許多個案的當事人喜歡先找行政書士或司法書士相談。但因為行政書士與司法書士也知道依法令自己該處理紛爭法務，因此這些書士給當事人的意見都只能很含糊而且還要求匿名，所以當事人最後反而無法得到持續性的支援。

筆者也遇過在日本找美國律師來處理日本不動產紛爭的案子。基本上外國律師在日本處理日本的紛爭法務問題全部都是違法的，這點也請各位讀者留意。

以律師看法，找錯專家還不如找員工處理。因為員工如果把爭訟法務問題給搞砸

了的話，律師仍是可接手，而且該位員工也會繼續配合律師來處理後續的問題。不過如果找錯專家(上述的行政書士、司法書士、外國律師等都是「錯」的專家)的話，因為這些專家怕被追究自己違反律師法(弁護士法)的責任，因此他們沒有一個人會承認自己曾經接手處理過當事人的個案相談，也不會與接手後續工作的律師配合，會讓律師的接手更困難。

預防法務依費用效果屬經營判斷

預防法務問題，是在客戶做重大投資、建立新的契約關係、設計新的事業型態時，為了控管法律上的風險、或是為了提昇企業的整體價值而導入的法務程序，屬「事前對應」的型態。

稍有經濟規模的中小企業應該都已導入了一定程度的預防法務之程序。例如，稅務的處理是請稅理士，公家機關的文書應對是請行政書士，就業規則等勞動契約相關之公司內部規則請社勞士來整理等等。這些都是預防法務的好例子。

筆者建議，在進行高風險事業之前應找律師來觀注該事業之設計與進行較好。雖然律師不會為該事業的成敗負責，也不會給老闆任何經營上的建議，不過律師識別危險的能力較一般人高，控管風險的手法也較多。舉例來說，某個契約一定要在某天前簽完，否則事業無法啟動等緊急狀況時，一般人大概也只好認了，而在無法完全釐清自己契約風險的狀況下簽約。不過如果有律師介入的話，律師可特定該契約之風險並依當事人之間的實情而為客戶設計出脫身之條款。

而且通常動機可疑的人士都會刻意回避律師參與的個案。舉例來說，因為律師可能隨時發問「貴公司名片上住址不完整，請告知詳情」、「請問名片上的住址為何與公司登記資料不符?」、「以貴公司的事業規模，為何將公司登記在民宅內?」。簡而言之，律師常具有門神的效果，因此重大案件適時請律師來觀注會比較安全。

結語

敬祝讀者萬事順利。本專欄於此截止。

(本文由玉山法律事務所提供)

世華日本分會拜訪福島縣磐梯町 促進台日地方交流



【福島／採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會，於11月6日率領許多在日僑領，拜訪福島縣磐梯町，與町長佐藤淳一、磐梯町商工會會長桑原大等當地政要會面，探討磐梯町與台灣商業交流與觀光旅遊等議題。

此次由世華日本分會會長尹世玲、名譽會長紀秋美、九州台商會長大倉仲洋等人組團的訪問團，首先在6日中午到磐梯町拜訪，並與磐梯町町長佐藤淳一會面。佐藤町長表示，磐梯町物產豐富，冬季更是以滑雪勝地聞名。福島與台灣從明年開始會有直航航班，非常樂見能增進與台灣交流。

尹世玲會長則代表訪問團致詞，感謝佐藤町長熱情接待訪問團，自己本身從事觀光行業，非常樂見磐梯町與台灣交流，也希望自己能夠為雙邊交流盡一份心力。九州台商會的大倉會長也從自己的專業角度，分析對磐梯町與台灣深化觀光交流的看法與意見，讓磐梯町的與會者獲益良多。

在隨後於商工會舉行的會議上，以商工會會長桑原大為首的成員們也紛紛出席。桑原大致詞時說，磐梯町是物產豐富的地區，以本地米所生產的日本清酒、梅酒更是享譽日本全國，然而之前因為核食議題，無法把好產品介紹



磐梯町町長佐藤淳一



現場舉辦試飲

台灣的朋友，非常的遺憾。

尹會長則表示，這次訪問團中有許多觀光產業的相關人士，更有長年促進福島與台灣交流的僑胞，願意盡可能協助福島產食品推薦到台灣，讓台灣人能品嚐到來自福島的美味。現場隨後舉辦了清酒試飲活動，喝過的人都讚不絕口，豎起大拇指稱讚。

在當日舉辦的晚餐歡迎會上，在地政要更是齊聚一堂，歡迎台灣訪問團的到訪。期間大家彼此敬酒，分享台日文化的差異與對未來雙邊交流的嚮往，整個活動也畫下圓滿句點。

台日不動產同業公會相見歡 共同見證真摯友誼



會上開心合影留念

【橫濱／綜合報導】新北市不動產仲經經紀商業同業公會此行來到日本，拜會全日本不動產協會神奈川縣本部，並在橫濱設宴款待到場嘉賓。日本台灣不動產協會也受邀出席，包含會長濱田裕子、創會會長錢妙玲、副理事林佳慶及一眾理事均共襄盛舉。

理事長林平川致詞表示，本來公會預定行程並非來這裡，但是為了見到在座的大家，今天率團來到神奈川縣訪問。這次是以相當大的陣仗來拜訪，菁英理事25人加上家屬共50多位來到這裡，也特別準備了紀念品要贈



日本台灣不動產協會與理事長合影與大家，希望今天到場的來賓們都能賓至如歸，享受美好的一天。

中華民國全聯會理事長張世芳則提到，新北市不動產仲經經紀商業同業公會與全日本不動產協會神奈川縣本部的緣分要回到2018年，當時自己與時任縣本部部長的秋山始，一起建立了兩會交流的橋樑，促成了雙方的交往。

全日本不動產協會神奈川縣本部的本部長



新北市不動產仲經經紀商業同業公會赴日訪問佐佐木富見夫在致詞時，向台灣方面介紹了神奈川縣的基本資訊，以及神奈川縣本部在日常推動不動產業務的相關訊息，讓在座的台灣人收益良多。

在活動上，參與各方各自致贈了紀念品，紀念這段難能可貴的跨國情誼。在懇親會上，眾人跨過了國籍、語言的隔閡，彼此互相交流，甚至拿出手機一起自拍留念，促成一段真誠可貴的國民外交。



留日台灣同鄉會理監事會暨忘年會 僑胞齊聚歡享同樂時光



紀念合影

【東京/採訪報導】中華民國留日台灣同鄉會於11月25日在東京舉行理監事會議暨忘年會，會議共有42位理監事參加，討論了預計在明年3月舉行的春季旅行相關細節、確定下一次理監事會議日期，並討論了計劃在2025年於雅敘園舉辦的懇親大會。

留日台灣同鄉會每兩年都會舉辦盛大的懇親大會，總會吸引無數在日僑胞不遠千里，齊聚一堂共襄盛舉。然而過去幾年受限於新冠病毒的影響，在活動的安排上不得不做出捨棄，如今伴隨疫情逐漸遠離我們的生活，不少理事與僑胞都期盼能讓懇親大會恢復到過去的盛況。

會長陳五福表示，這次能在留日東京華僑總會會議室舉行理監事會，感到非常榮幸。距離自己接任會長以來已經過了四個月左右，今天藉由理監事會議與忘年會，希望能促進僑胞彼此互相交流，也向大家報告中秋

烤肉大會、未來的會務活動。

僑務組副組長宋惠芸也受邀出席此次理監事會。宋副組長表示，如陳會長所說，華僑總會會議室就像是僑胞共同的家，期待未來僑界活動能多多利用這裡。她也稱讚陳會長非常熱心會務，活動安排已經安排的非常詳細，也預祝今天會議與忘年會能順利成功。

會上分享了今年秋季在台場順利舉辦的中秋烤肉大會，也計劃明年3月19、20日舉辦春季旅遊時，一併召開下一次的理監事會議，呼籲理事們能夠一起共襄盛舉，獲得現場一致掌聲通過。臨時動議中，也討論了來自姐妹會的菲律賓台灣同鄉會的聯絡，大家也同意繼續加深與菲律賓方的友誼。

會議結束後，也隨即舉辦忘年會，副代表周學佑特地出席本次活動。周副代表在致詞時表示，他注意到疫情之後，過去十個月來台灣人赴日的人數已經接近2019年的人次，



會中合影



會長陳五福致詞



副代表周學佑致詞

證明了台日雙方的關係很緊密，稱讚僑胞在台日交流中的貢獻，讓他很感動。

活動上除了準備豐盛的美食為所有參加來賓接風洗塵外，也準備了抽獎在內的各種活動，讓現場的氣氛非常歡樂。年關將至，2023年也將告一段尾聲，出席活動的人無不把機會，彼此交換各自近況，在寒冷的冬日中，散發著人心熱呼呼的暖意。

台灣 Fair in 沖繩2023登場 美食精采演出全都有



開幕式紀念合影



洪柏青會長致詞



現場販售各式各樣台灣料理

【沖繩/採訪報導】琉球台灣商工協會從11月24日起為期三天舉行「台灣Fair in 沖繩2023」活動，今年配合該會25周年紀念擴大舉辦，不僅有各式各樣的台灣美食、物產，還有像是變臉秀、歌謠秀等演出，那霸辦事處處長王瑞豐、日本台灣商會聯合總會會長錢妙玲、名譽總會會長新垣句子等人也出席開幕式。

會長洪柏青表示，在台灣Fair上可以體驗台灣的文化，品嚐台灣美食，欣賞台灣歌曲和舞蹈等，可以讓大家感受到歡樂，同時也感謝許多人的協助，讓台灣Fair能夠順利舉行，這三天為了讓大家更加開心，活動也安排各式各樣的活動和演出，請大家盡情享受。

那霸辦事處處長王瑞豐致詞時表示，要感謝洪會長的努力，讓今年的活動規模比去年更大，同時每年也都獲得好評，今年除了台灣傳統小吃和飲料外，還有販售嘉義阿里山茶葉、蜜餞等，希望還沒體驗過台灣的日本民眾可以利用這次台灣Fair，體驗正港的台灣味。

總會會長錢妙玲表示，已經很久沒有到沖繩訪問，很高興能受邀出席這次台灣Fair的開幕式，琉球台灣商工協會所舉辦的台灣Fair已經有好幾年的歷史，每年都能在台灣Fair品嚐到好吃的佳餚，也會安排各式各樣的活動或表演等，請大家一定要好好享受台灣Fair。

日總名譽總會會長、琉球台灣商工協會名譽會長新垣句子表示，很高興能到台灣和沖繩一同攜手度過疫情，並舉辦台灣Fair，洪會長雖然今年才接任，卻說要將台灣Fair擴大舉辦，是因為琉球台灣商工協會迎來25周年，一定要讓大家都品嚐台灣的料理、體驗台灣的特色，希望大家多邀請親朋好友來，讓台灣Fair更加熱鬧。

這次的「台灣Fair in 沖繩2023」從11月24日起至11月26日止，現場除了販售魯肉飯、牛肉麵、珍珠、豆花等各式各樣的台灣美食和物產外，也有變臉秀、歌謠秀，以及二胡演奏等精彩的演出，開幕式當天就已經吸引不少當地民眾前來，就連海外客人也停下腳步體驗台灣文化。

琉球台灣商工協會 25 周年慶 各界人士雲集場面盛大



紀念合影

【沖繩/採訪報導】一般社團法人琉球台灣商工協會於11月24日舉辦25周年紀念活動，除了舉辦演講會外，晚間的祝賀會也吸引台

日各界人士出席慶祝25周年，現場可以說是冠蓋雲集，場面非常盛大。

這次的演講邀請到外貿協會董事長黃志芳



洪柏青會長致詞

前來說明台沖和台日的經貿交流等，同時那霸辦事處處長王瑞豐、眾議員島尻安伊子、那霸市副市長古謝玄太、世界華人工商婦女企管協會會長莊佳維、日本台灣商會聯合總會會長錢妙玲、日本中華聯合總會會長羅鴻健等台日各界人士都出席共襄盛舉。

會長洪柏青表示，琉球台灣商工協會成立25年來，要感謝大家熱情的支持，以及歷代會長的努力，目前與商會的合作擴展了我們的網絡，成為深化國際交流的重要一環。在日本國內，我們也會與其他台

商會密切合作，為會務擴展和地區發展做出貢獻，未來我們也將繼續推進沖繩和台灣的友好關係，承擔創造新商機、促進永續發展的使命。

外貿協會董事長黃志芳表示，琉球是距離台灣最近的合作夥伴，也是我們重視的夥伴，這次很高興能來與大家交流，外貿協會會繼續扮演台灣跟琉球合作最好的橋樑，也希望在場台日企業領袖協助台灣企業來琉球發展，也歡迎大家隨時到台灣造訪。

那霸辦事處處長王瑞豐在致詞時特別展現沖繩的方言，他也表示，感謝琉球台灣商工協會

在台日經貿交流的努力，今年在洪會長的帶領下，台灣Fair的規模比起去年更加盛大，對於沒辦法常去台灣的人，台灣Fair能為大家帶來正港的台灣味。

總會會長錢妙玲表示，自擔任總會會長以來，時常與洪會長討論會務的發展，洪會長接任後致力於推動青年部的發展，目前在他的努力下，人數已有所成長，相信未來會有更多人加入，也感謝新垣名譽總會長的指導，讓我們能協助加深台灣和熊本的交流，但不僅是熊本，沖繩也是很棒的地方，希望未來能與大家一起努力，一同促進台沖的交流。

想學日語嗎

熱烈歡迎 台灣學生

位於大阪市中心的四棟校舍
大阪外語學院成立 32 周年。有四棟交通便利的校舍迎接你的到來。

歡迎短期留學
除了以升學為目標的日語學習班外，我們根據學生的需求，提供從日常生活會話到商務日語的親切指導。歡迎短期留學，對住在日本的學生提供優惠的課程。

附設升學指導補習班
附設升學補習班 AIM 日進學院，講師陣容來自東京大學、大阪大學、慶應義塾大學等。並取得出色的錄取成績，包括大阪大學、大阪市立大學、同志社大學、東京理科學等。



我在二十多歲創辦學校，在撫養三個小孩的時，作為許多留學生在日本的母親，我照顧過許多國際學生，對於父母擔心孩子的心情十分理解並感同身受，請放心將您的孩子託付給我。

理事長 阪本 晃子



完善的宿舍，充實的獎學金制度		
特等生	日語能力考試 N1 合格者	10 萬日元
獎學生	日語能力考試 N2 合格者	2 萬日元
全勤獎	3 個月出席全勤學生	6000 日元

OSAKA 大阪外語学院

info@osaka-gaigo.jp 06-6241-6677 http://osaka-gaigo.jp

優惠券

*凡報名一年以上日本語課程者 憑此優惠券可享有入學金

¥50,000 OFF

